

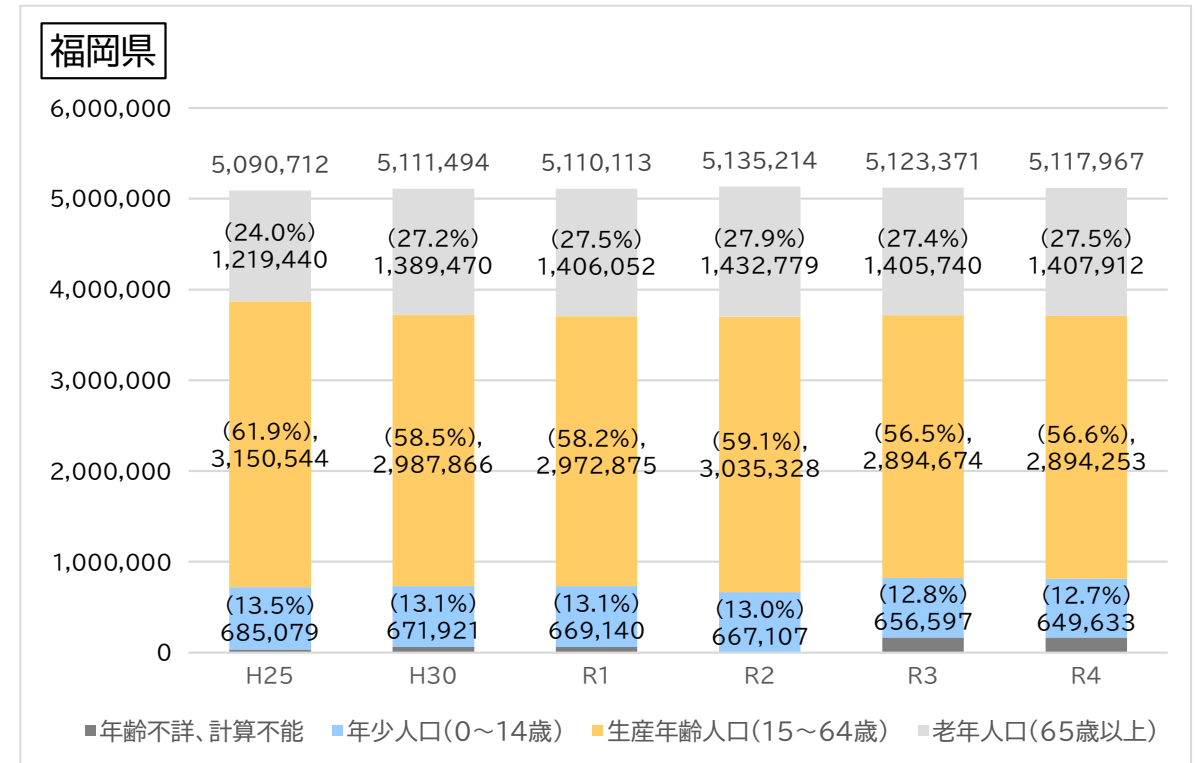
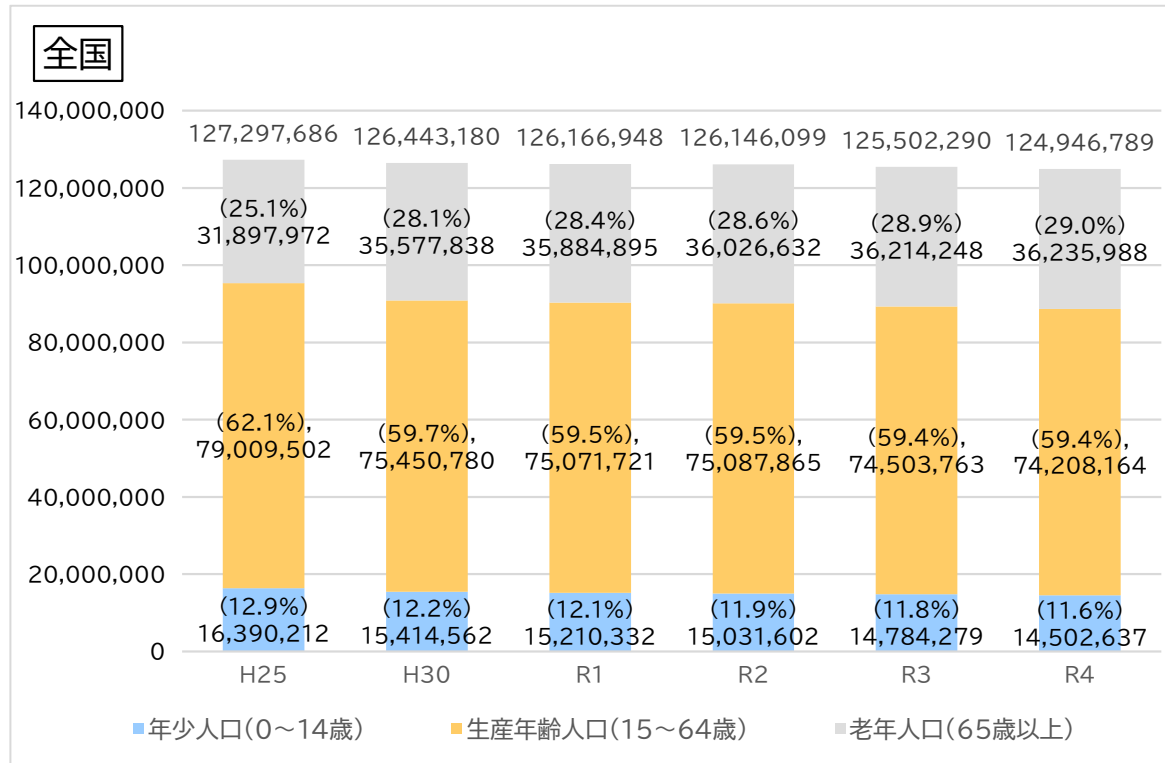
地区診断

—北九州区域—

目次

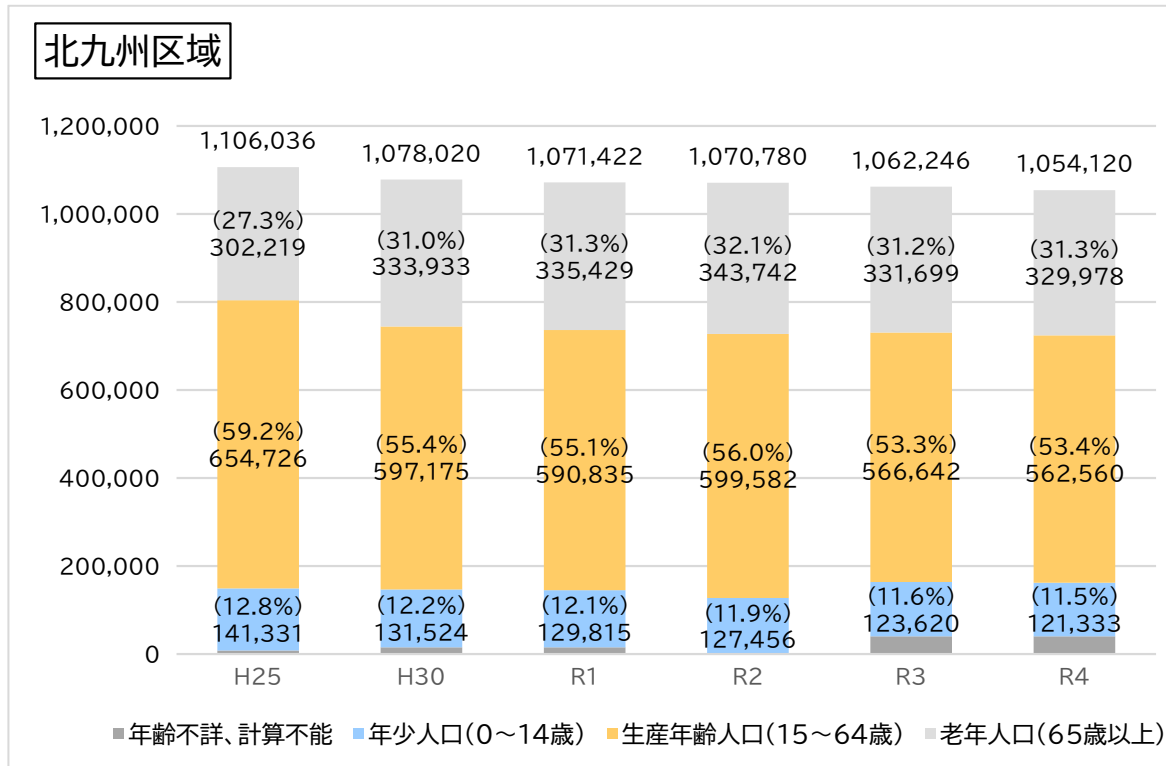
1	概要	3
2	人口の状況	4
3	出生率の状況	9
4	死亡率の状況	10
5	将来推計人口の推移	11
6	市区町別将来推計人口の推移	15
7	SCRの状況	17
8	患者推計	22
9	医療従事者数〔医師〕	24
10	医療従事者数〔医師・診療科〕	26
11	医療従事者数〔常勤医師〕	29
12	医療介護資源の状況	30
13	医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕	32
14	在宅医療の状況	37
15	看護職員の状況	43
16	二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表	45
17	二次救急及び急患センターの位置（隣接区域含む）	46
18	人口メッシュ（500m）	47
19	救急搬送の状況	48
20	救急医療電話相談利用件数	53
21	MDC別割合	54

2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



- ・総人口について、全国は減少傾向であり、福岡県は令和2年をピークに減少していく見込み
- ・年齢3区分別人口の推移を見ると、全国、福岡県ともに、老年人口の割合は増加傾向で、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている
- ・老年人口の割合は、H25年からR4年までで、全国で3.9ポイント増加し、福岡県では、3.5ポイント増加している

2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)



・総人口については、減少傾向

・年齢3区分別人口の推移を見ると、老年人口の割合は若干増加、生産年齢人口、年少人口は、減少傾向となっている

・老年人口の割合は、H30年度以降30%を超えており、H25年度からR4年度までで、4.0ポイント増加している

・R4年度の各市区町の状況を見ると(スライド6参照)、老年人口の割合は小倉北区、小倉南区、八幡西区以外の市区町村で30%を超えており、中間市では40%近くに達している

2. 人口の状況 (「福岡県の人口・年齢3区分別(各年10月1日現在)」)

●北九州区域の各市町村の状況

	H25				H30				R1				R2				R3				R4			
	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数	年少人口	生産年齢人口	老年人口	総数
北九州市	124,349 (12.8%)	575,780 (59.5%)	261,668 (27.0%)	968,122	115,123 (12.2%)	526,375 (55.7%)	288,833 (30.5%)	945,595	113,652 (12.1%)	521,142 (55.4%)	290,114 (30.9%)	940,141	111,412 (11.9%)	529,868 (56.4%)	297,749 (31.7%)	939,029	107,838 (11.6%)	498,191 (53.5%)	286,078 (30.7%)	931,551	105,726 (11.4%)	494,445 (53.5%)	284,550 (30.8%)	924,143
門司区	11,886 (11.7%)	55,859 (55.0%)	33,593 (33.1%)	101,562	10,641 (11.1%)	48,750 (50.7%)	35,677 (37.1%)	96,172	10,409 (11.0%)	47,834 (50.4%)	35,507 (37.4%)	94,844	9,739 (10.4%)	47,493 (50.6%)	36,610 (39.0%)	93,842	9,057 (9.8%)	43,451 (47.0%)	34,216 (37.0%)	92,414	8,948 (9.8%)	42,657 (46.8%)	33,830 (37.1%)	91,119
若松区	10,710 (12.9%)	48,748 (58.6%)	23,675 (28.5%)	83,212	10,387 (12.8%)	44,501 (55.0%)	25,874 (32.0%)	80,940	10,351 (12.9%)	44,026 (54.7%)	26,002 (32.3%)	80,550	10,218 (12.7%)	43,875 (54.5%)	26,440 (32.8%)	80,533	10,073 (12.7%)	42,256 (53.2%)	26,204 (33.0%)	79,364	9,866 (12.5%)	42,223 (53.4%)	26,117 (33.0%)	79,036
戸畑区	7,071 (11.9%)	35,355 (59.7%)	16,697 (28.2%)	59,248	6,554 (11.3%)	33,123 (57.1%)	18,053 (31.1%)	57,967	6,390 (11.1%)	32,804 (57.1%)	18,038 (31.4%)	57,466	6,286 (10.9%)	32,947 (57.3%)	18,261 (31.8%)	57,494	6,176 (10.9%)	31,558 (55.5%)	17,725 (31.2%)	56,824	6,121 (10.9%)	31,257 (55.5%)	17,565 (31.2%)	56,306
小倉北区	20,214 (11.1%)	110,619 (60.7%)	46,888 (25.7%)	182,207	19,413 (10.7%)	103,103 (56.6%)	52,219 (28.7%)	182,220	19,347 (10.6%)	102,987 (56.5%)	52,587 (28.8%)	182,403	19,801 (10.8%)	108,640 (59.2%)	54,966 (30.0%)	183,407	19,252 (10.5%)	98,865 (54.1%)	51,053 (28.0%)	182,632	18,858 (10.4%)	98,136 (54.2%)	50,717 (28.0%)	181,166
小倉南区	31,069 (14.4%)	131,325 (61.1%)	52,248 (24.3%)	215,025	28,615 (13.6%)	121,477 (57.8%)	59,234 (28.2%)	210,118	28,198 (13.5%)	120,266 (57.5%)	59,786 (28.6%)	209,041	27,144 (13.0%)	120,707 (57.7%)	61,177 (29.3%)	209,028	26,328 (12.7%)	115,507 (55.6%)	59,956 (28.8%)	207,927	25,814 (12.5%)	114,636 (55.5%)	60,038 (29.1%)	206,622
八幡東区	7,791 (11.1%)	39,412 (56.2%)	22,786 (32.5%)	70,166	7,161 (10.9%)	34,757 (52.7%)	23,809 (36.1%)	65,944	7,078 (10.9%)	34,113 (52.4%)	23,656 (36.4%)	65,058	7,002 (10.8%)	34,111 (52.6%)	23,679 (36.5%)	64,792	6,955 (10.8%)	32,915 (51.3%)	23,114 (36.1%)	64,116	6,843 (10.8%)	32,645 (51.5%)	22,710 (35.9%)	63,328
八幡西区	35,608 (13.9%)	154,462 (60.2%)	65,781 (25.6%)	256,702	32,352 (12.8%)	140,664 (55.8%)	73,967 (29.3%)	252,234	31,879 (12.7%)	139,112 (55.5%)	74,538 (29.7%)	250,779	31,222 (12.5%)	142,095 (56.9%)	76,616 (30.7%)	249,933	29,997 (12.1%)	133,639 (53.8%)	73,810 (29.7%)	248,274	29,276 (11.9%)	132,891 (53.9%)	73,573 (29.8%)	246,566
中間市	4,881 (11.4%)	24,178 (56.3%)	13,873 (32.3%)	42,962	4,481 (11.1%)	20,930 (51.7%)	15,012 (37.1%)	40,515	4,432 (11.1%)	20,468 (51.2%)	15,015 (37.5%)	40,003	4,405 (10.9%)	20,738 (51.4%)	15,219 (37.7%)	40,362	4,282 (10.8%)	20,127 (50.7%)	15,002 (37.8%)	39,679	4,211 (10.7%)	19,913 (50.7%)	14,853 (37.9%)	39,240
芦屋町	2,070 (14.0%)	8,735 (59.2%)	3,938 (26.7%)	14,747	1,702 (12.4%)	7,727 (56.4%)	4,292 (31.3%)	13,706	1,676 (12.4%)	7,601 (56.1%)	4,287 (31.6%)	13,547	1,645 (12.1%)	7,533 (55.6%)	4,367 (32.2%)	13,545	1,569 (11.8%)	7,363 (55.4%)	4,358 (32.8%)	13,293	1,541 (11.7%)	7,281 (55.5%)	4,299 (32.8%)	13,122
水巻町	3,212 (11.0%)	16,600 (56.9%)	7,955 (27.3%)	29,152	3,538 (12.5%)	15,586 (54.9%)	9,238 (32.5%)	28,409	3,492 (12.5%)	15,224 (54.4%)	9,240 (33.0%)	28,002	3,502 (12.5%)	15,272 (54.3%)	9,340 (33.2%)	28,114	3,492 (12.5%)	15,018 (53.7%)	9,351 (33.4%)	27,977	3,463 (12.4%)	15,006 (53.7%)	9,368 (33.5%)	27,950
岡垣町	4,429 (13.8%)	18,193 (56.9%)	9,358 (29.3%)	31,990	4,198 (13.5%)	16,530 (53.3%)	10,302 (33.2%)	31,035	4,098 (13.2%)	16,415 (53.1%)	10,418 (33.7%)	30,929	4,102 (13.2%)	16,346 (52.7%)	10,559 (34.1%)	31,007	4,024 (13.0%)	16,190 (52.3%)	10,343 (33.4%)	30,961	4,030 (13.0%)	16,216 (52.3%)	10,335 (33.4%)	30,983
遠賀町	2,390 (12.5%)	11,240 (59.0%)	5,427 (28.5%)	19,063	2,482 (13.2%)	10,027 (53.4%)	6,256 (33.3%)	18,760	2,465 (13.1%)	9,985 (53.1%)	6,355 (33.8%)	18,800	2,390 (12.8%)	9,825 (52.5%)	6,508 (34.8%)	18,723	2,415 (12.9%)	9,753 (51.9%)	6,567 (35.0%)	18,785	2,362 (12.6%)	9,699 (51.9%)	6,573 (35.2%)	18,682

※総数には年齢不詳、計算不能を含む

2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

●昼夜間人口

表1) 昼間人口・夜間人口

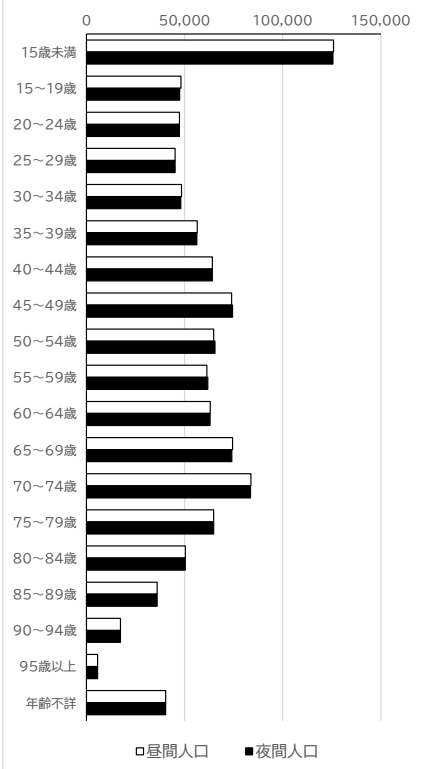


表2) 昼夜間人口比率

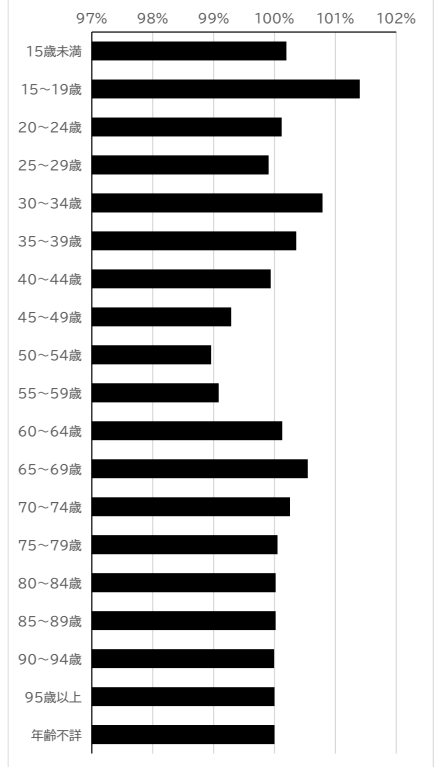


表3) 年齢別昼夜間人口

年齢	昼間人口		夜間人口		昼夜差		昼夜間人口比率	
	男	女	男	女	男	女	男	女
総数	1,071,219	1,070,780	1,070,780	1,071,219	-876	1,315	99.8%	100.2%
15歳未満	125,850	125,602	125,602	125,850	119	129	100.2%	100.2%
15~19歳	48,102	47,437	47,437	48,102	363	302	101.5%	101.3%
20~24歳	47,380	47,324	47,324	47,380	-339	395	98.6%	101.7%
25~29歳	45,106	45,149	45,149	45,106	-242	199	98.9%	100.9%
30~34歳	48,445	48,065	48,065	48,445	47	333	100.2%	101.4%
35~39歳	56,454	56,253	56,253	56,454	54	147	100.2%	100.5%
40~44歳	64,082	64,121	64,121	64,082	-170	131	99.5%	100.4%
45~49歳	73,930	74,459	74,459	73,930	-375	-154	99.0%	99.6%
50~54歳	64,793	65,473	65,473	64,793	-632	-48	98.0%	99.9%
55~59歳	61,282	61,848	61,848	61,282	-472	-94	98.4%	99.7%
60~64歳	63,062	62,982	62,982	63,062	81	-1	100.3%	100.0%
65~69歳	74,465	74,059	74,059	74,465	401	5	101.2%	100.0%
70~74歳	83,805	83,593	83,593	83,805	240	-28	100.6%	99.9%
75~79歳	64,806	64,774	64,774	64,806	34	-2	100.1%	100.0%
80~84歳	50,369	50,359	50,359	50,369	15	-5	100.1%	100.0%
85~89歳	36,033	36,026	36,026	36,033	3	4	100.0%	100.0%
90~94歳	17,311	17,312	17,312	17,311	-3	2	99.9%	100.0%
95歳以上	5,634	5,634	5,634	5,634	0	0	100.0%	100.0%
年齢不詳	40,310	40,310	40,310	40,310	0	0	100.0%	100.0%

- ・昼夜間人口の差が最も大きい年代層は「50-54歳」、次いで「55-59歳」、「45-49歳」となっており、中高年層で域外への流出が多いものと思料
- ・「15-19歳」は昼間人口の方が多く、通学によって流入している状況が見られる
- ・就業の年代(25-64)で見ると、男性は30歳代を除いて夜間人口が多く、女性は44歳以下の年代層で昼間人口が多い状況となっており、この年代の男性は域外に流出し、女性は域外から流入しているものと思料

2. 人口の状況 (2020年(令和2年)「国勢調査」)

		計		就業者		通学者		その他	
		男	女	男	女	男	女	男	女
自地域内で 従業・通学 等	自地域内で、従業・通学	255,215	240,633	203,840	191,738	51,375	48,895	0	0
	従業も通学もしていない	137,288	239,738					137,288	239,738
	不詳	78,564	69,903	9,397	7,030	5,527	5,070	63,640	57,803
	計	471,067	550,274	213,237	198,768	56,902	53,965	200,928	297,541
流出	他地域に従業・通学	34,142	15,297	31,131	12,525	3,011	2,771	0	1
流入	他地域から従業・通学	33,266	16,612	29,720	13,082	3,546	3,530	0	0

主な流出先

【就業】

市区町村名	流出(人)	構成比	市区町村名	流出(人)	構成比
1 福岡県 苅田町	6,023	13.80%	1 福岡県 福岡市東区	941	16.27%
2 福岡県 直方市	5,635	12.91%	2 福岡県 福岡市博多区	617	10.67%
3 福岡県 福岡市博多区	4,872	11.16%	3 福岡県 宗像市	547	9.46%
4 福岡県 宮若市	3,481	7.97%	4 福岡県 直方市	492	8.51%
5 山口県 下関市	3,173	7.27%	5 山口県 下関市	432	7.47%

【通学】

市区町村名	流出(人)	構成比	市区町村名	流出(人)	構成比
1 福岡県 苅田町	6,023	13.80%	1 福岡県 福岡市東区	941	16.27%
2 福岡県 直方市	5,635	12.91%	2 福岡県 福岡市博多区	617	10.67%
3 福岡県 福岡市博多区	4,872	11.16%	3 福岡県 宗像市	547	9.46%
4 福岡県 宮若市	3,481	7.97%	4 福岡県 直方市	492	8.51%
5 山口県 下関市	3,173	7.27%	5 山口県 下関市	432	7.47%

主な流入元

【就業】

市区町村名	流入(人)	構成比	市区町村名	流入(人)	構成比
1 山口県 下関市	4,902	11.45%	1 山口県 下関市	933	13.19%
2 福岡県 宗像市	4,828	11.28%	2 福岡県 行橋市	756	10.68%
3 福岡県 行橋市	4,228	9.88%	3 福岡県 宗像市	472	6.67%
4 福岡県 直方市	3,799	8.88%	4 福岡県 苅田町	409	5.78%
5 福岡県 苅田町	3,359	7.85%	5 福岡県 直方市	371	5.24%

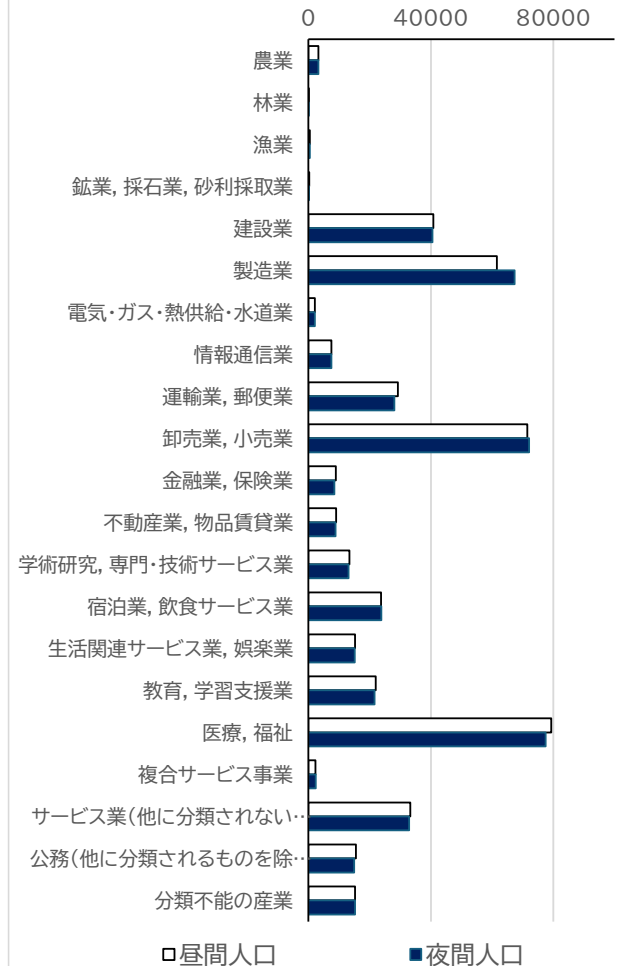
【通学】

市区町村名	流入(人)	構成比	市区町村名	流入(人)	構成比
1 山口県 下関市	4,902	11.45%	1 山口県 下関市	933	13.19%
2 福岡県 宗像市	4,828	11.28%	2 福岡県 行橋市	756	10.68%
3 福岡県 行橋市	4,228	9.88%	3 福岡県 宗像市	472	6.67%
4 福岡県 直方市	3,799	8.88%	4 福岡県 苅田町	409	5.78%
5 福岡県 苅田町	3,359	7.85%	5 福岡県 直方市	371	5.24%

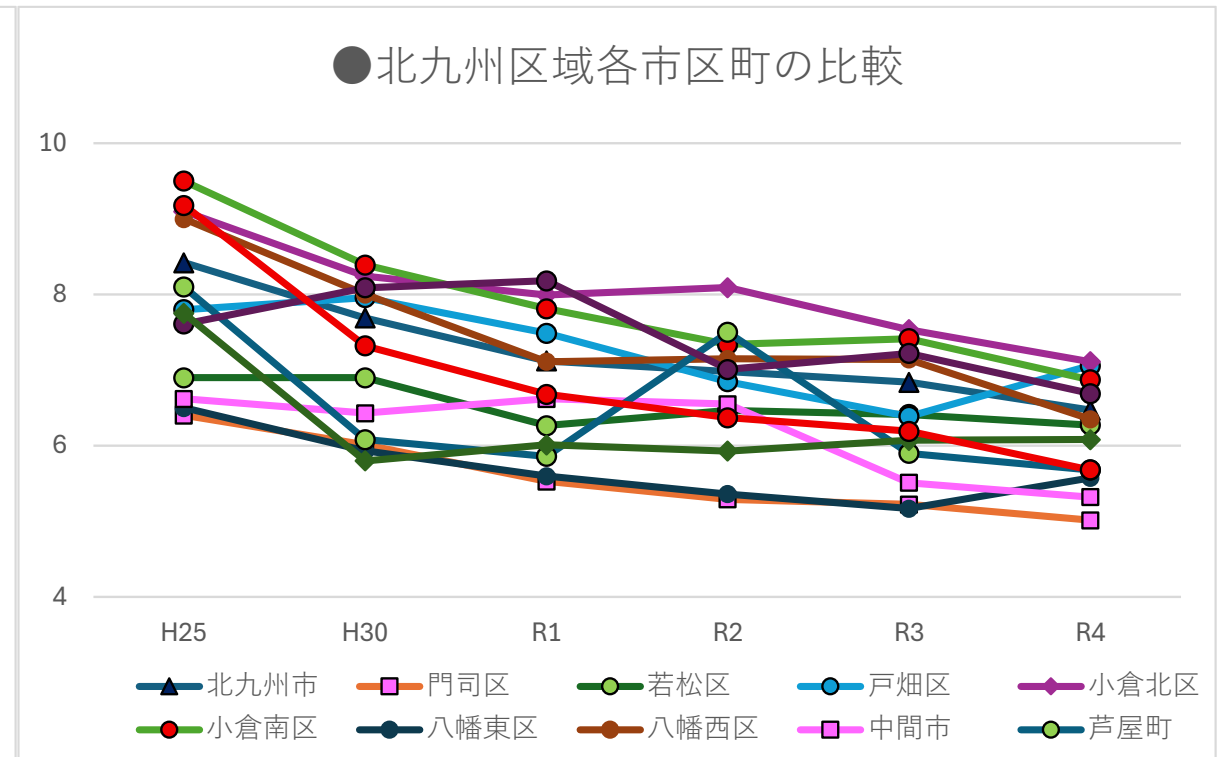
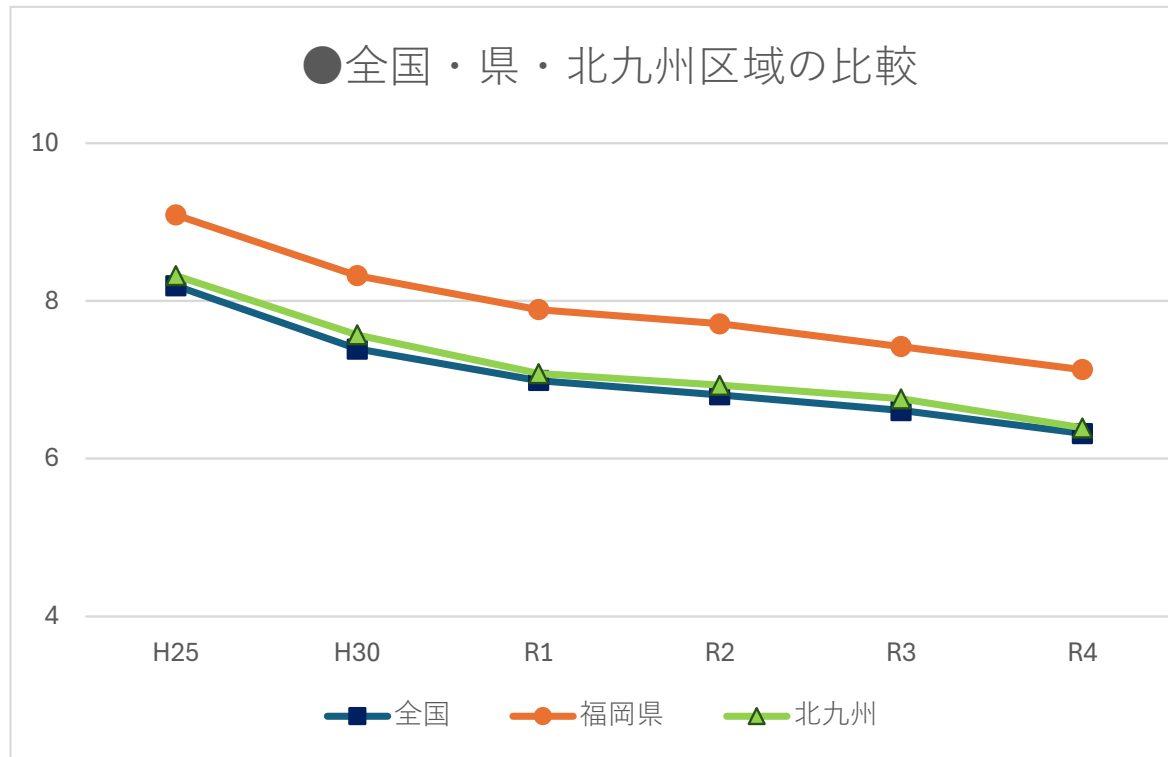
- ・ 就業者は、男性は流入が多く、女性は流出が多い
- ・ 通学者は、男性は流入、女性は流出が多い

産業別に昼間人口を見ると、医療・福祉が最も多く、次いで卸売業・小売業、製造業となっている。医療・福祉は夜間人口よりも昼間人口が多いなど、地区内の医療・福祉に他地区から流入している状況がみられる。

表5) 昼間人口・夜間人口

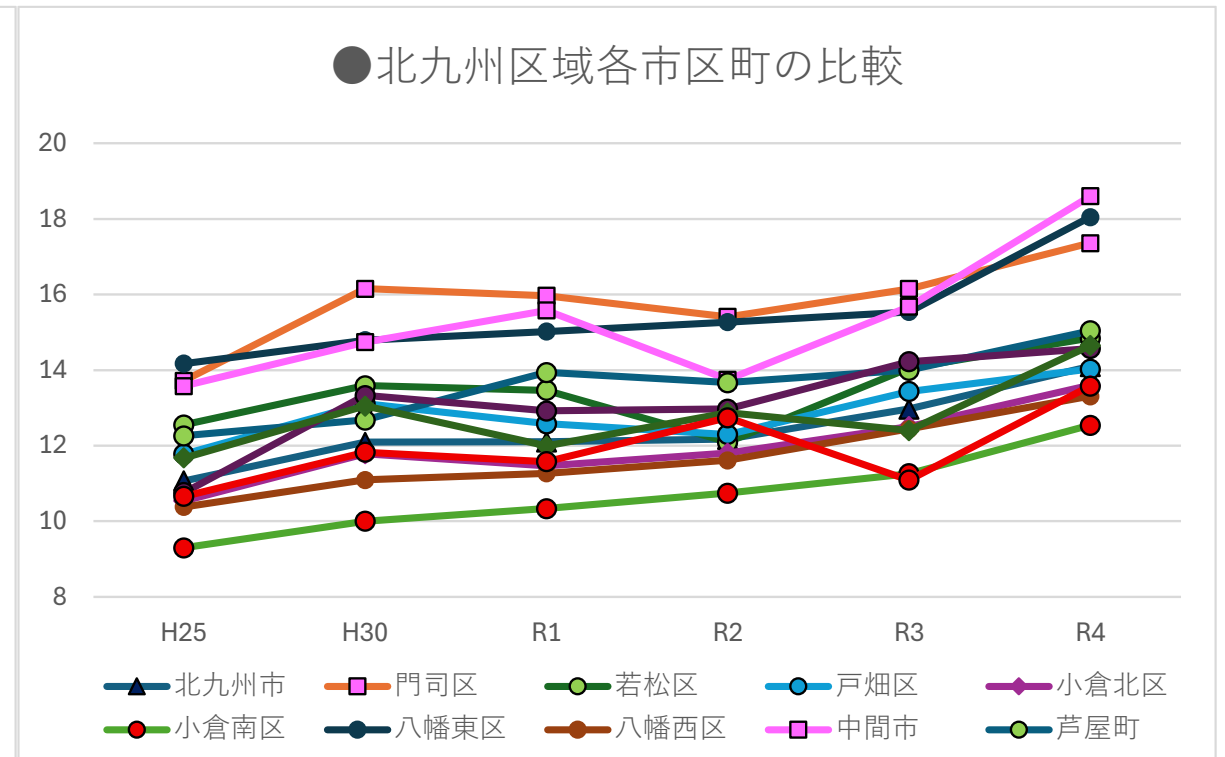
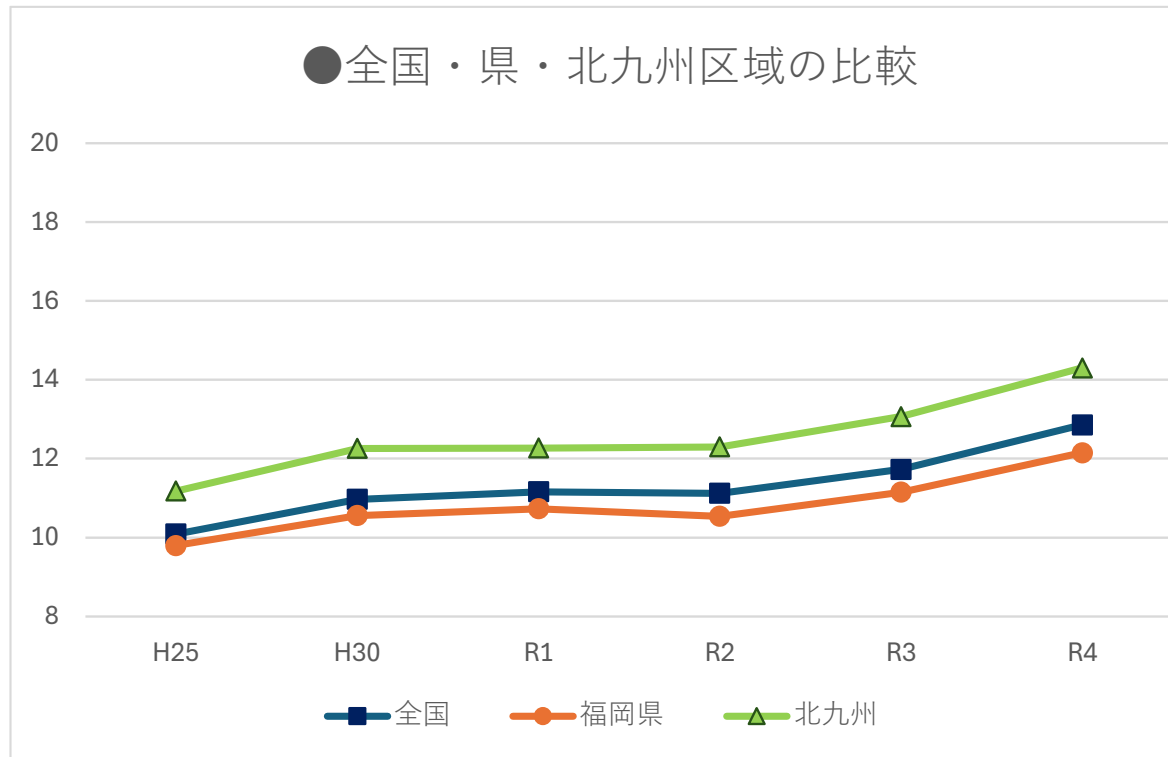


3. 出生率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



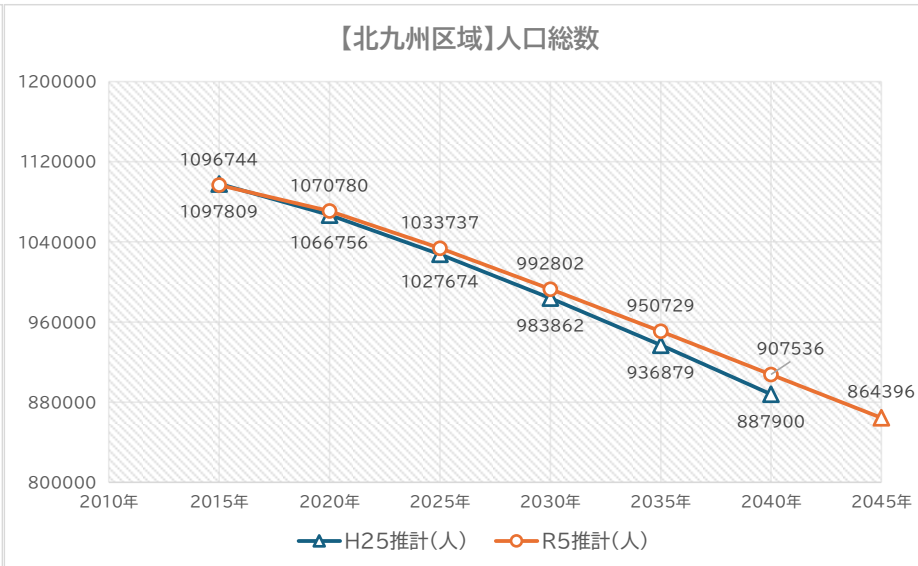
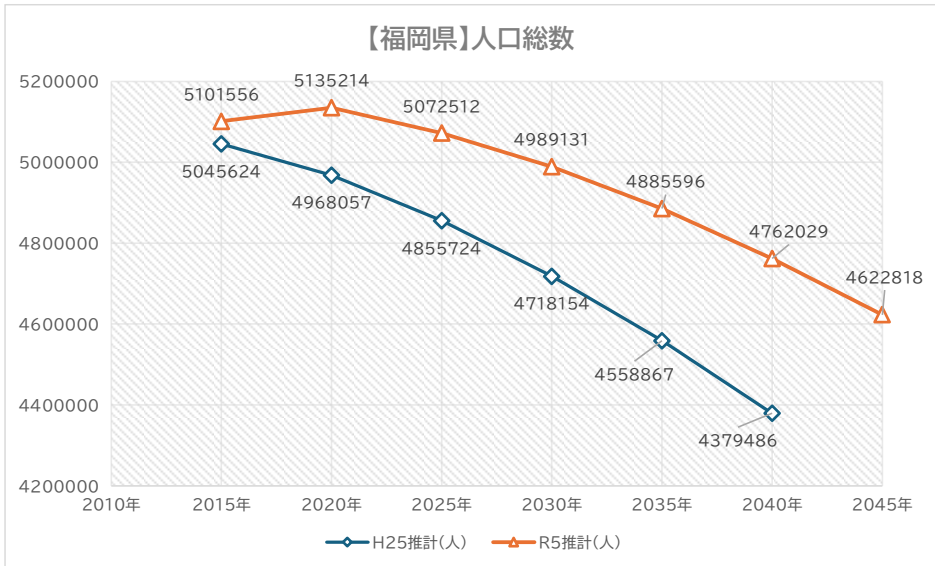
- ・出生率(人口千対)は、総人口、生産年齢人口の減少もあり、全国、福岡県、北九州区域ともに低下傾向となっており、北九州区域の出生率は全国と概ね同等の水準である
- ・市区町別で見ると、年度ごとに増減はあるものの、概ね低下傾向となっている
- ・R4年の出生率はいずれの市区町も県平均(7.1‰)よりも低く、最も低いのは門司区の5.0‰である

4. 死亡率の状況 (「福岡県保健統計年報」)



- ・死亡率(人口千対)は、老年人口の増加もあり、全国、福岡県、北九州区域ともに上昇傾向となっている
- ・北九州区域は、老年人口の割合が全国、福岡県と比較して高いため、死亡率も高くなっているものと思料
- ・市区町別に見ても概ね上昇傾向にあるものと思料
- ・R4年の死亡率は、いずれの市区町も県平均(12.2%)よりも高く、最も高いのは、中間市の18.6%である

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



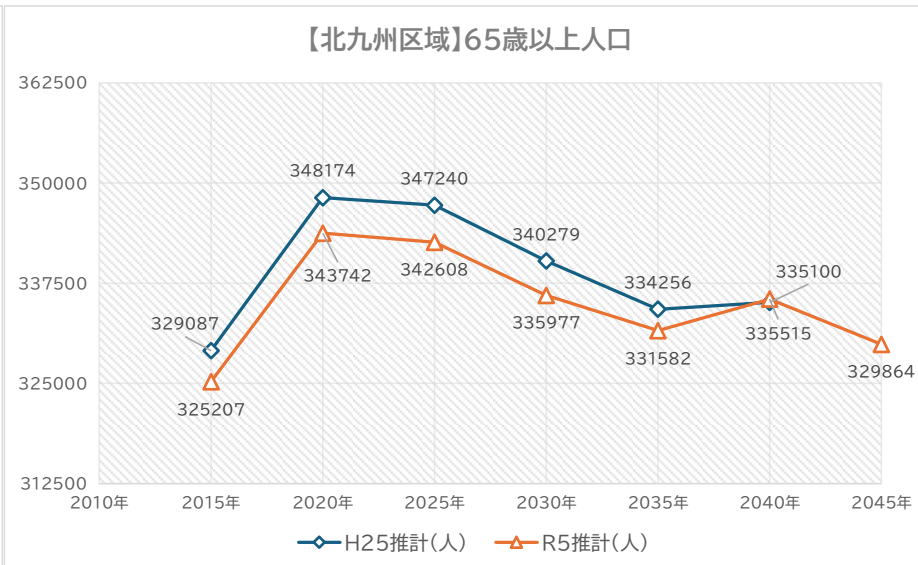
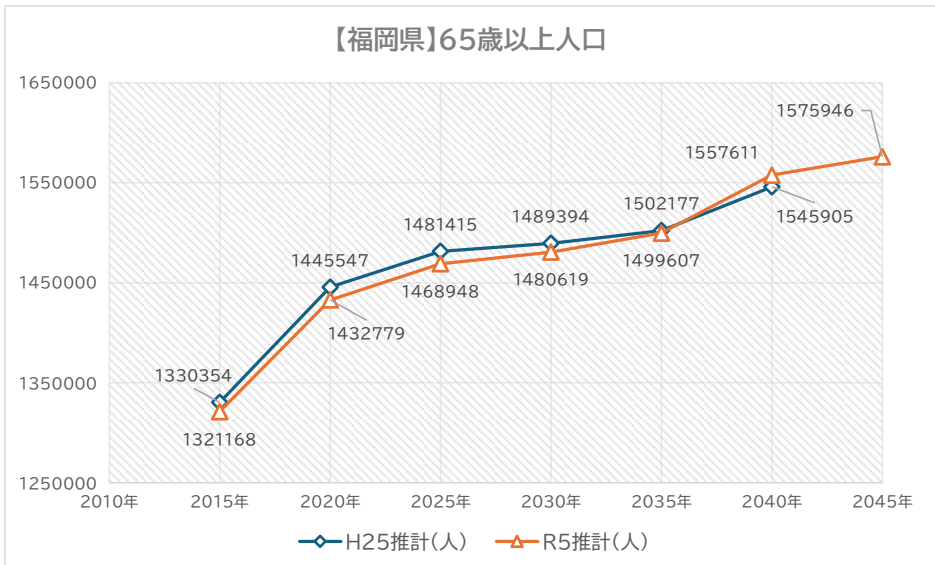
人口総数については、地域医療構想策定当時の推計(H25)と最新の推計(R5)を比べると、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

当初の推計では、2015年以降減少する見込みであったが、R5推計では、2020年をピークに緩やかに減少する見込み

【北九州区域】

当初推計と同様の傾向で推移する見込み



65歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

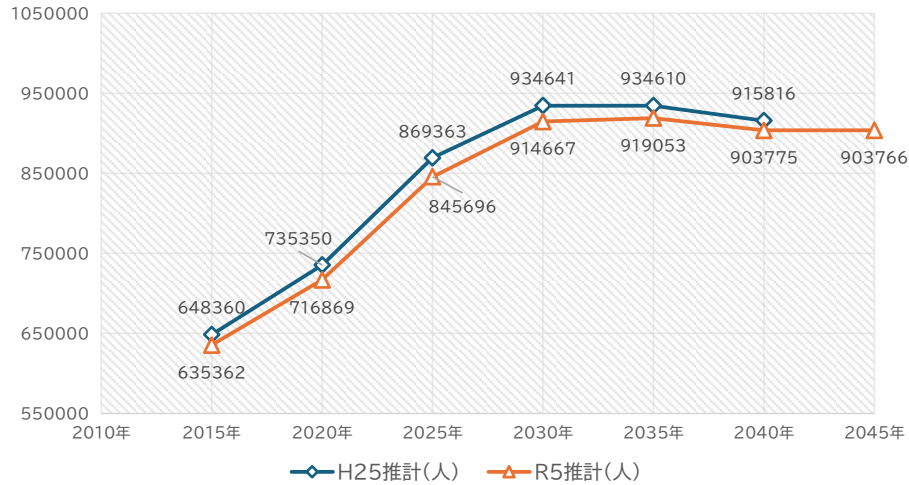
当初の推計と概ね同様の傾向で推移する

【北九州区域】

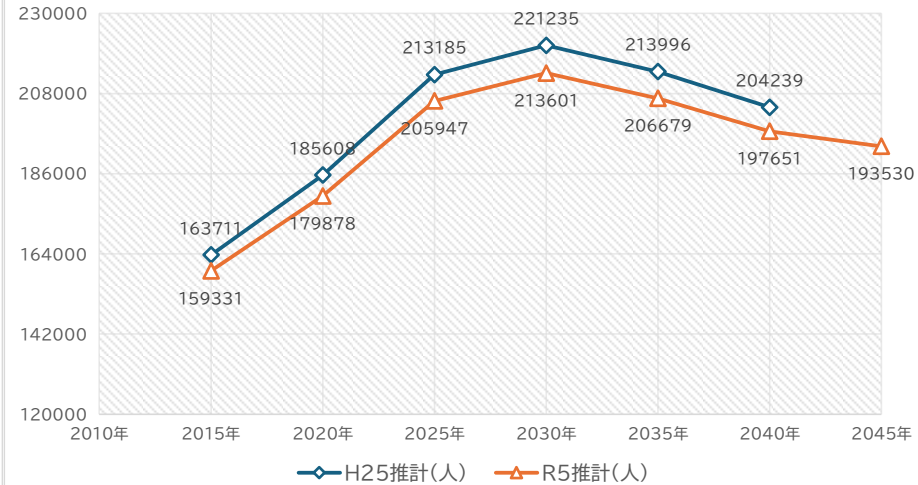
当初推計と同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

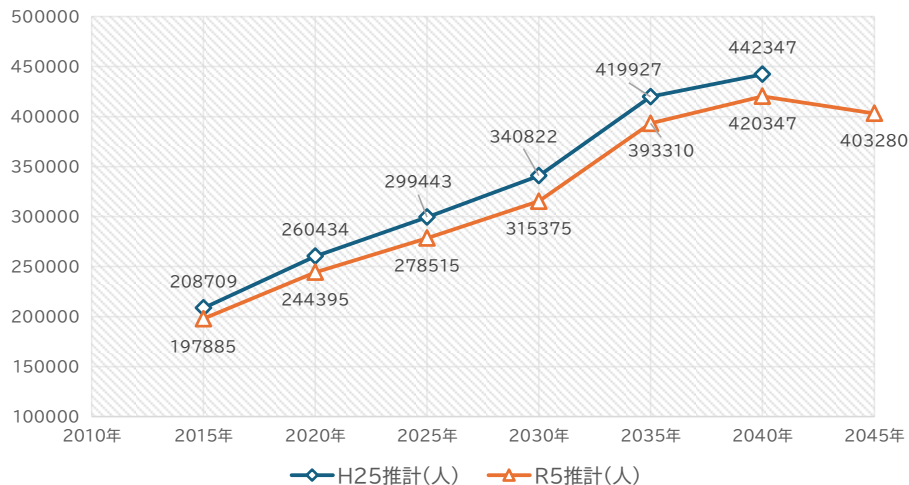
【福岡県】75歳以上人口



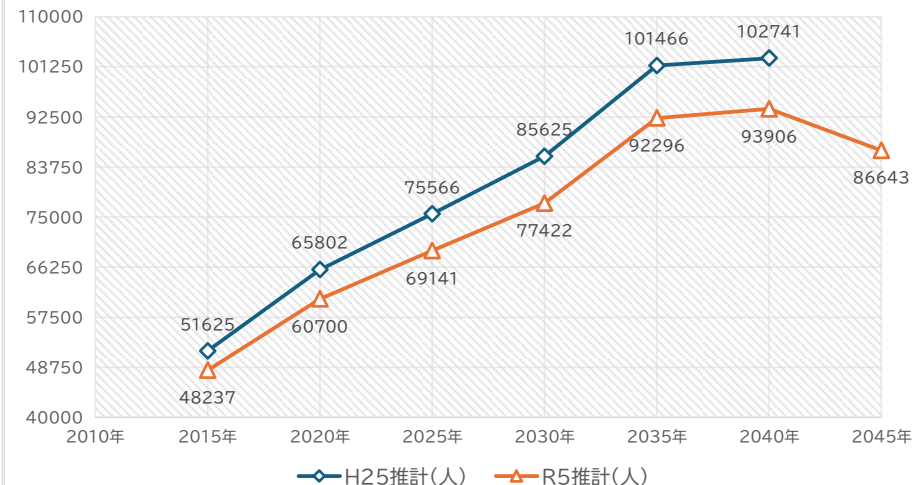
【北九州区域】75歳以上人口



【福岡県】85歳以上人口



【北九州区域】85歳以上人口



75歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

【北九州区域】

当初推計と同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

85歳以上人口については、以下の状況が読み取れる

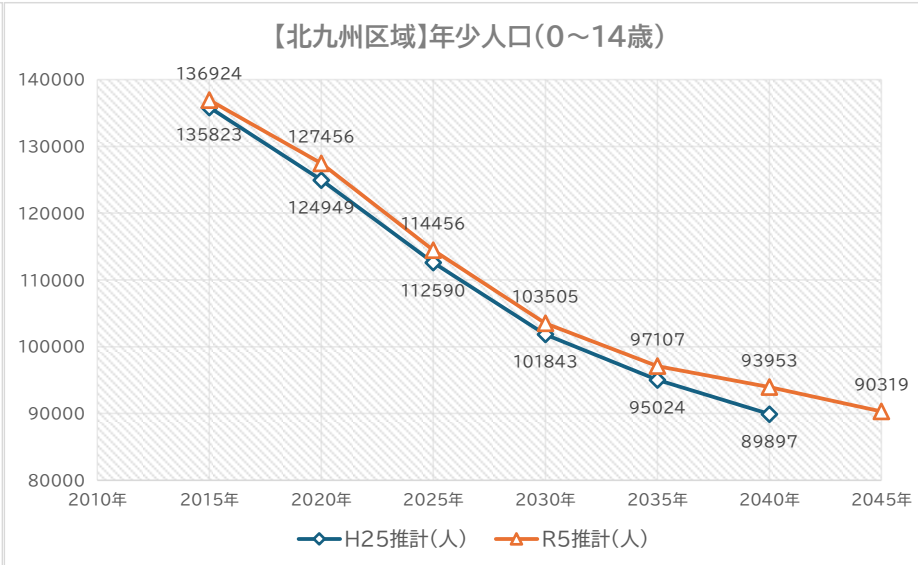
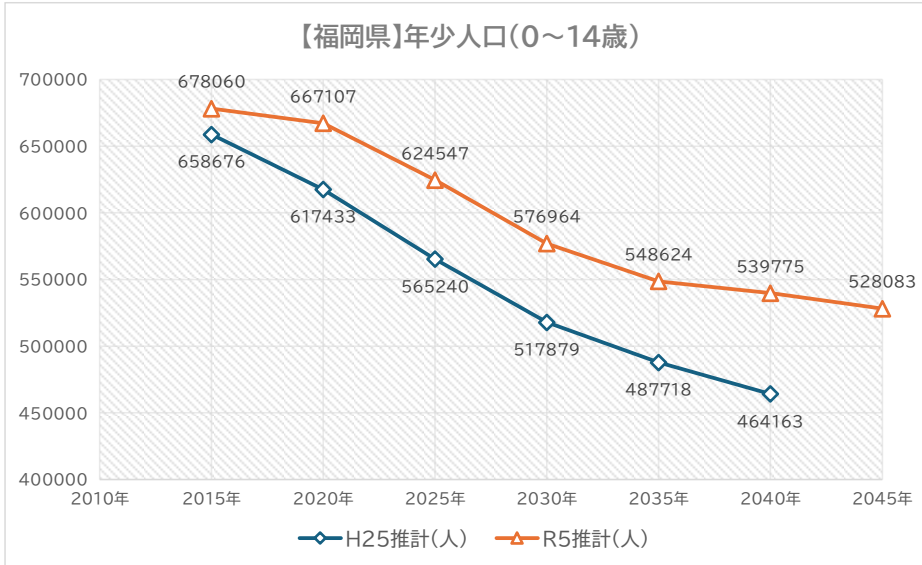
【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

【北九州区域】

当初推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは減少する見込み

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)



年少人口については、以下の状況が読み取れる

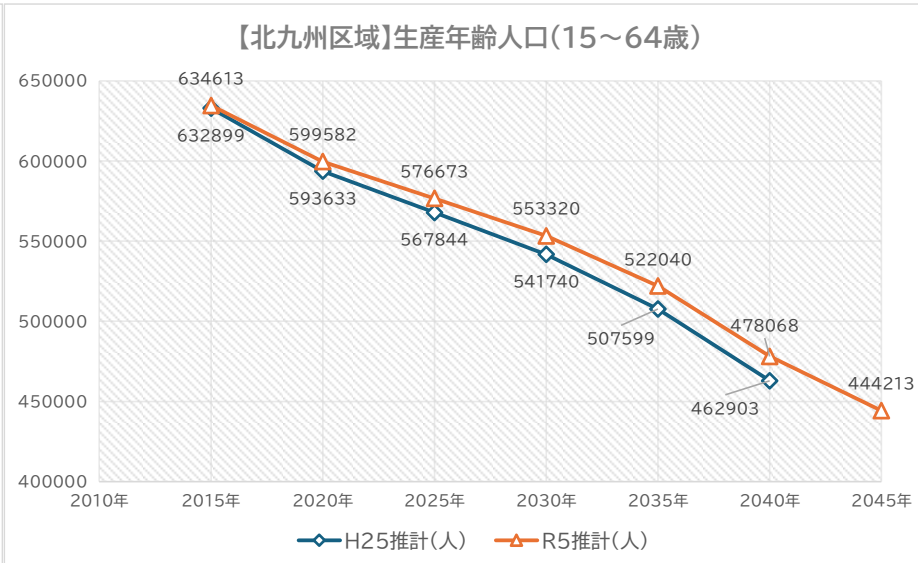
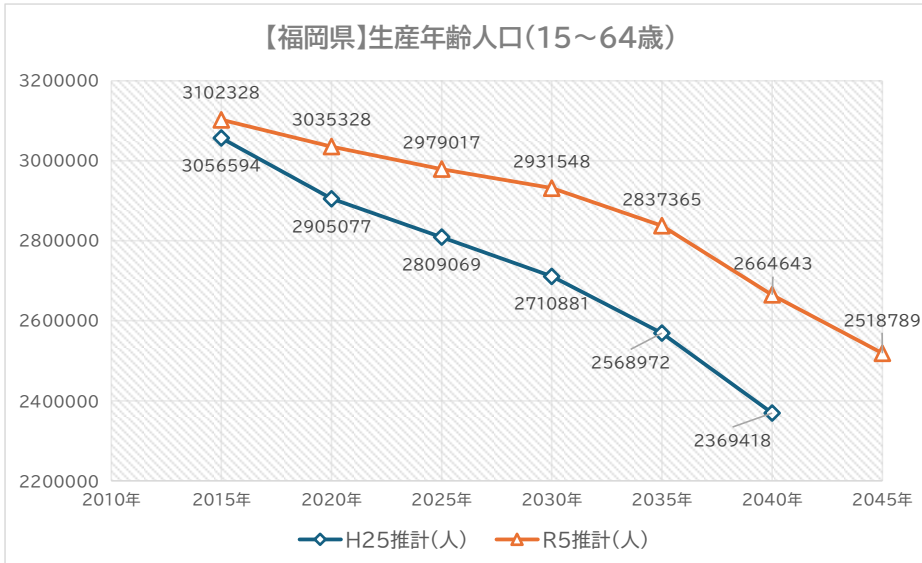
【福岡県全体】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

またR5推計では、2040年にかけて減少のカーブが緩やかになる見込み

【北九州区域】

当初の推計と概ね同様の傾向で推移する



生産年齢人口については、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】

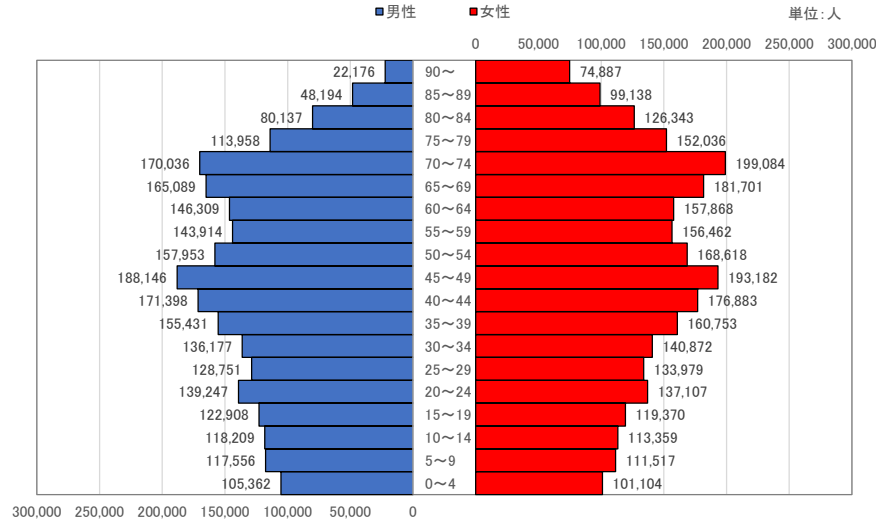
当初の推計と概ね同様の傾向で推移するが、人数そのものは増加する見込み

【北九州区域】

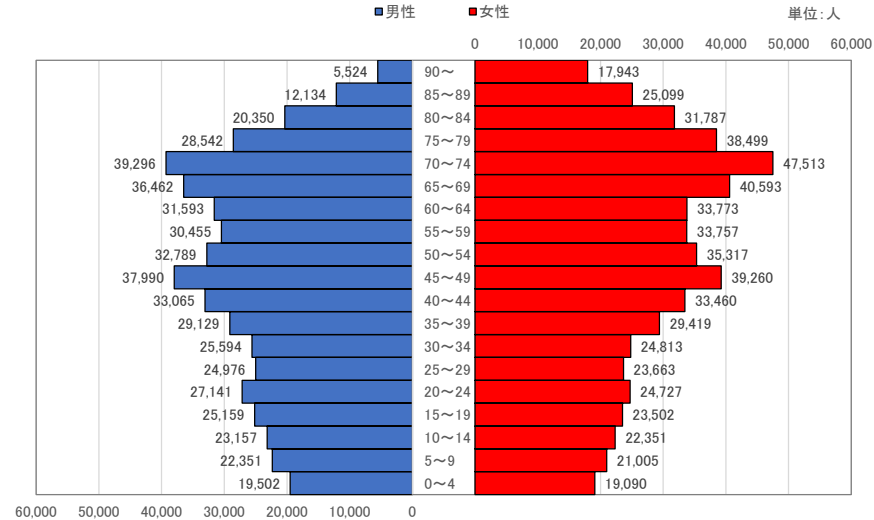
当初の推計と概ね同様の傾向で推移する見込み

5. 将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2020年】



【人口ピラミッドグラフ(北九州)2020年】

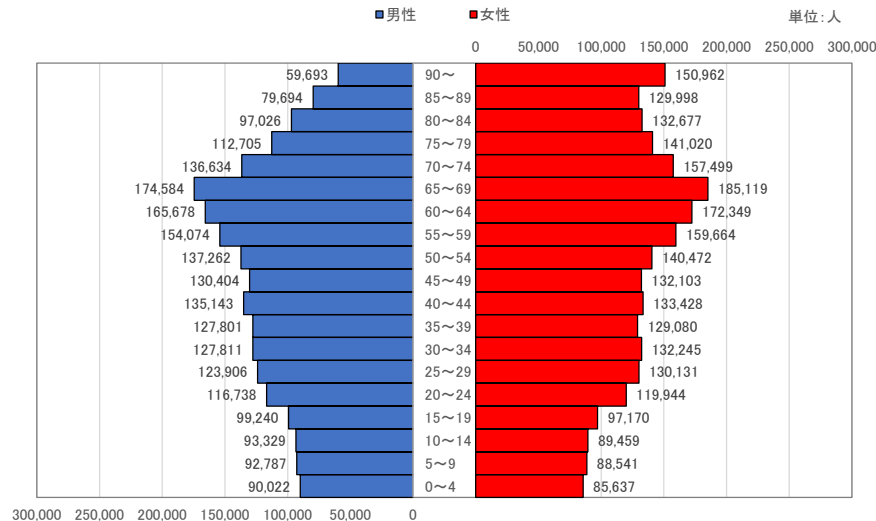


2020(令和2)年の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

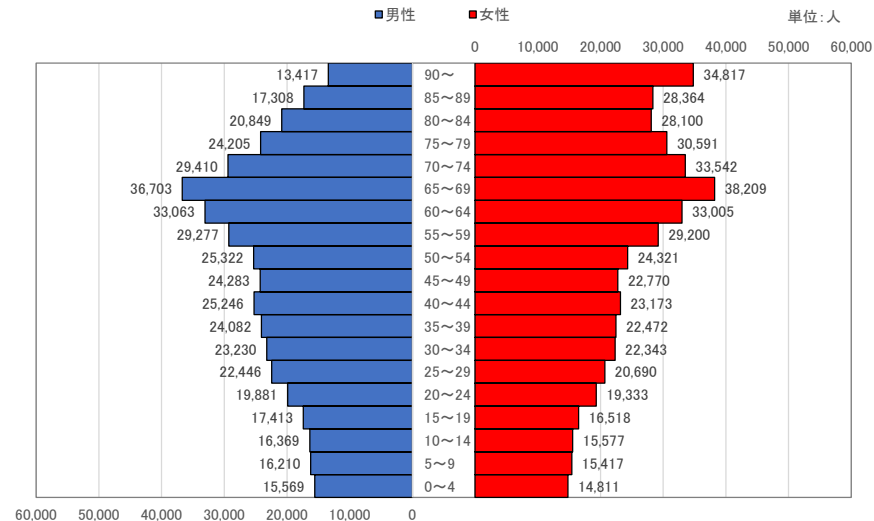
【福岡県全体】
第1次ベビーブーム期にあたる71~74歳、第二次ベビーブーム期にあたる45~49歳で2つの人口の山があり、年齢が下がるにつれて人口が少なくなるつぼ型となっている

【北九州区域】
福岡県全体と比較して65歳以上の老年人口と40代後半の人口ボリュームが大きく、一定の規模を維持している

【人口ピラミッドグラフ(福岡県)2040年】



【人口ピラミッドグラフ(北九州)2040年】



2040(令和22年)の人口ピラミッドからは、以下の状況が読み取れる

【福岡県全体】
ベビーブーム世代は90歳以上、65~69歳となり、この年代の人口ボリュームを一定程度維持しつつ推移するが、少子化が進むことによって、2020年に比べて年少人口が大きく減少し、より底が狭まったつぼ型となっている

【北九州区域】
65歳以上の老年人口が一定の規模を維持しつつ推移しているため、2020年時点よりもさらに高齢化が進むとともに、少子化が進むことによって、年代が下がるとともに底が狭まる形状となっている

6. 市区町別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

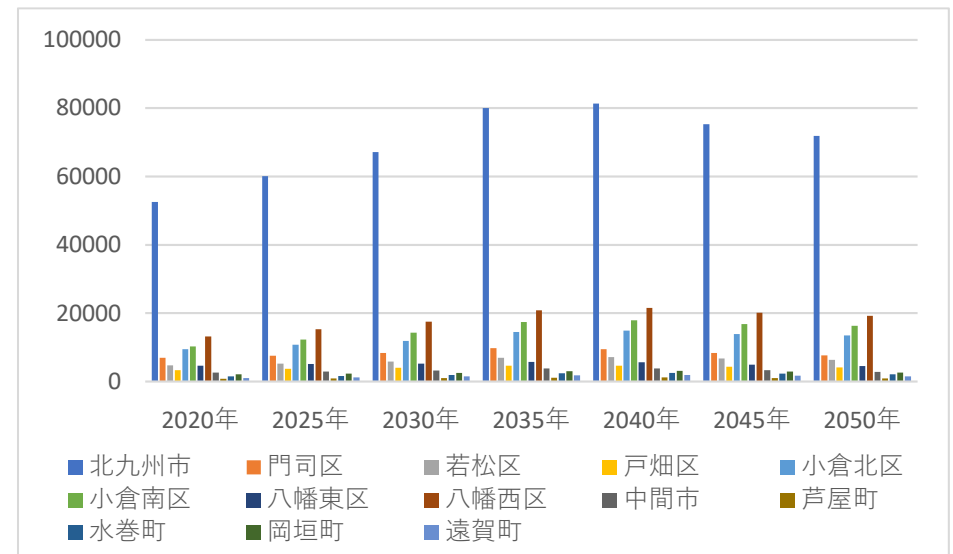
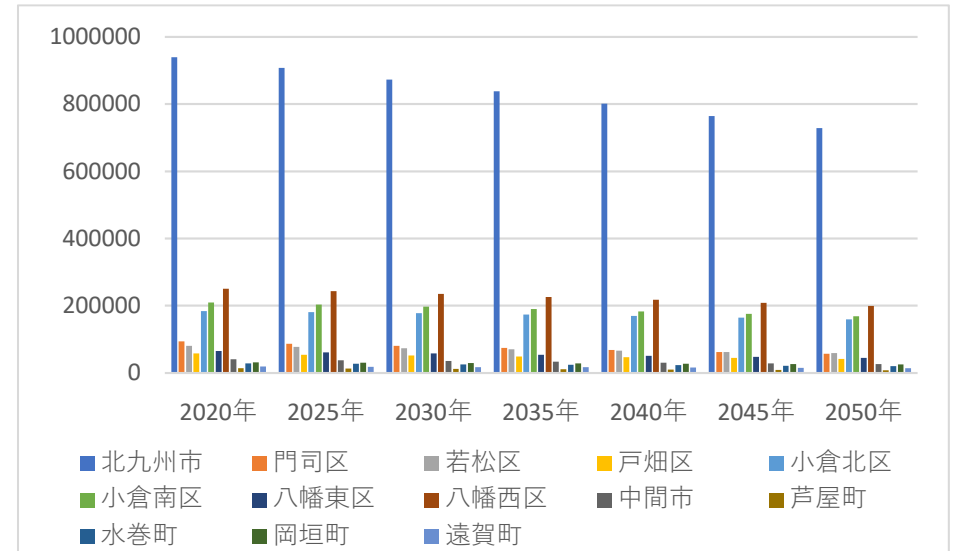
将来の男女5歳階級別推計人口(2020年は国勢調査による実績値)

総数	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
北九州市	939,029	907,778	873,315	837,844	801,253	764,423	728,898	22.4%
門司区	93,842	87,119	80,657	74,198	67,955	62,067	56,667	39.6%
若松区	80,533	77,332	73,676	69,852	66,033	62,288	58,706	27.1%
戸畑区	57,494	54,284	51,742	49,256	46,707	44,247	41,964	27.0%
小倉北区	183,407	181,230	177,919	174,092	169,539	164,323	159,049	13.3%
小倉南区	209,028	203,681	197,177	190,395	183,192	175,794	168,463	19.4%
八幡東区	64,792	61,218	57,515	53,943	50,604	47,530	44,746	30.9%
八幡西区	249,933	242,914	234,629	226,108	217,223	208,174	199,303	20.3%
中間市	40,362	37,969	35,486	32,979	30,492	28,177	26,055	35.4%
芦屋町	13,545	12,599	11,651	10,773	9,919	9,083	8,281	38.9%
水巻町	28,114	26,925	25,679	24,305	22,887	21,480	20,139	28.4%
岡垣町	31,007	30,316	29,308	28,294	27,264	26,298	25,375	18.2%
遠賀町	18,723	18,150	17,363	16,534	15,721	14,935	14,203	24.1%
北九州計	1,070,780	1,033,737	992,802	950,729	907,536	864,396	822,951	23.1%

・いずれの市区町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、圏域全体の人口総数で23.1%
 ・減少率を市区町別で見ると、門司区が39.6%で最も高く、次が芦屋町38.9%、中間市35.4%である

85歳以上	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	増加率 (20→40)
北九州市	52,588	60,090	67,183	80,040	81,315	75,261	71,842	54.6%
門司区	6,912	7,614	8,380	9,823	9,499	8,413	7,694	37.4%
若松区	4,703	5,220	5,854	7,005	7,161	6,770	6,325	52.3%
戸畑区	3,355	3,748	4,059	4,678	4,647	4,304	4,119	38.5%
小倉北区	9,464	10,744	11,843	14,541	14,919	13,863	13,535	57.6%
小倉南区	10,299	12,288	14,310	17,388	17,953	16,843	16,354	74.3%
八幡東区	4,680	5,131	5,257	5,744	5,627	4,956	4,528	20.2%
八幡西区	13,175	15,345	17,480	20,861	21,509	20,112	19,287	63.3%
中間市	2,638	2,931	3,271	3,832	3,799	3,330	2,836	44.0%
芦屋町	843	921	991	1,163	1,199	1,049	970	42.2%
水巻町	1,528	1,634	1,928	2,408	2,526	2,344	2,135	65.3%
岡垣町	2,097	2,303	2,529	2,997	3,115	2,887	2,639	48.5%
遠賀町	1,006	1,262	1,520	1,856	1,952	1,772	1,531	94.0%
北九州計	60,700	69,141	77,422	92,296	93,906	86,643	81,953	54.7%

・門司区、戸畑区、八幡東区、中間市は2035年がピーク、その他の市区町は2040年にピークを迎え、その後減少していく
 ・増加率(2020→2040)を市区町別で見ると、遠賀町で北九州区域全体の増加率(54.7%)を大きく上回り、94.0%となっている
 次いで増加率が高いのは小倉南区の74.3%、水巻町65.3%、八幡西区63.3%である



6. 市区町別将来推計人口の推移 (国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(H25推計、R5推計)年報」)

生産年齢人口 (15~64歳)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
北九州市	529,868	510,470	490,044	462,296	423,915	394,480	372,067	29.8%
門司区	47,493	42,898	39,449	35,526	30,760	26,968	24,112	49.2%
若松区	43,875	41,482	39,496	37,241	34,067	31,517	29,393	33.0%
戸畑区	32,947	30,764	29,139	27,460	25,264	23,649	22,318	32.3%
小倉北区	108,640	107,506	105,312	101,601	95,316	90,149	86,034	20.8%
小倉南区	120,707	117,297	112,726	106,022	97,194	90,640	86,005	28.7%
八幡東区	34,111	32,554	30,892	28,829	26,220	24,062	22,493	34.1%
八幡西区	142,095	137,969	133,030	125,617	115,094	107,495	101,712	28.4%
中間市	20,738	19,427	18,379	17,161	15,284	13,849	12,580	39.3%
芦屋町	7,533	7,038	6,424	5,746	4,958	4,396	3,972	47.3%
水巻町	15,272	14,377	13,667	12,935	11,853	10,870	9,969	34.7%
岡垣町	16,346	15,954	15,633	15,096	13,972	13,174	12,463	23.8%
遠賀町	9,825	9,407	9,173	8,806	8,086	7,444	6,969	29.1%
北九州計	599,582	576,673	553,320	522,040	478,068	444,213	418,020	30.3%

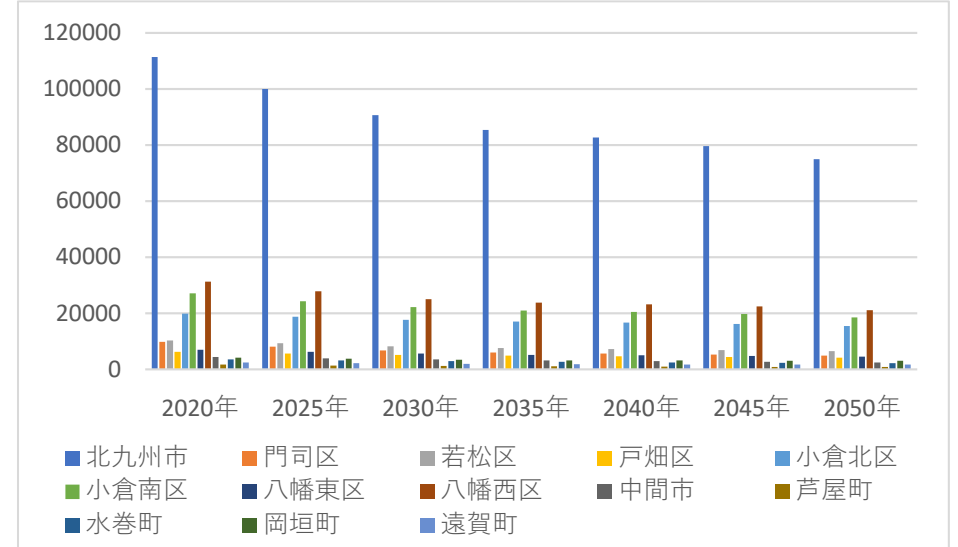
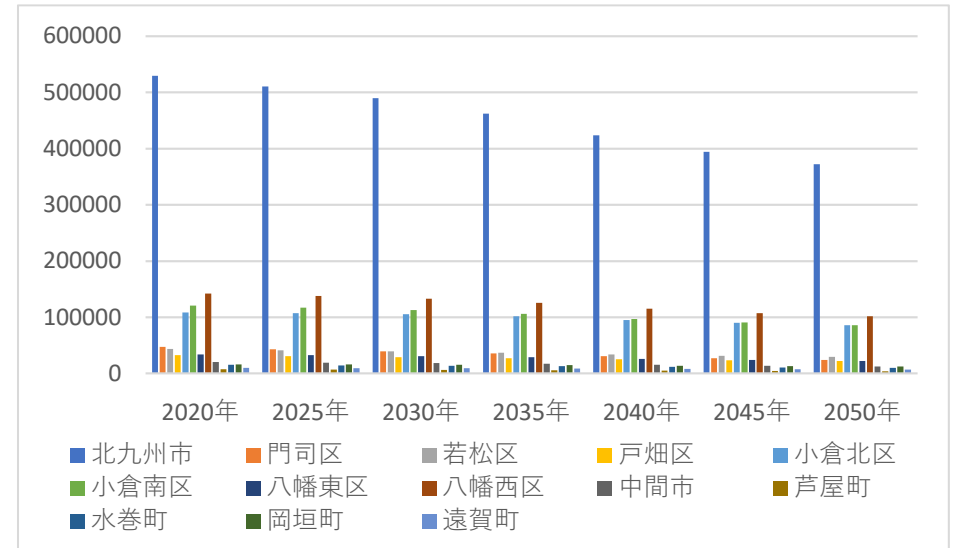
・いずれの市区町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている

・減少率を市区町別で見ると、門司区が49.2%で最も高く、次が芦屋町47.3%、中間市39.3%である

年少人口 (15歳未満)	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	減少率 (20→50)
北九州市	111,412	100,007	90,611	85,326	82,717	79,598	74,969	32.7%
門司区	9,739	8,052	6,776	6,005	5,617	5,273	4,836	50.3%
若松区	10,218	9,308	8,218	7,529	7,180	6,854	6,417	37.2%
戸畑区	6,286	5,651	5,180	4,819	4,634	4,413	4,150	34.0%
小倉北区	19,801	18,707	17,676	17,037	16,687	16,181	15,373	22.4%
小倉南区	27,144	24,237	22,147	20,986	20,442	19,696	18,545	31.7%
八幡東区	7,002	6,259	5,588	5,167	4,995	4,807	4,552	35.0%
八幡西区	31,222	27,793	25,026	23,783	23,162	22,374	21,096	32.4%
中間市	4,405	3,892	3,484	3,122	2,890	2,663	2,433	44.8%
芦屋町	1,645	1,361	1,171	1,043	975	889	778	52.7%
水巻町	3,502	3,213	2,861	2,614	2,477	2,353	2,196	37.3%
岡垣町	4,102	3,809	3,457	3,211	3,149	3,100	2,992	27.1%
遠賀町	2,390	2,174	1,921	1,791	1,745	1,716	1,644	31.2%
北九州計	127,456	114,456	103,505	97,107	93,953	90,319	85,012	33.3%

・いずれの市区町も2050年に向けて減少傾向であり、2020年から2050年の減少率は、人口総数より大きい割合となっている

・減少率を市区町別で見ると、門司区、芦屋町で50%を超えており、中間市が44.8%である



7. SCRの状況 (SCRが100以上の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの
 全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(北九州地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	86.8%	50.0%	60.0%	A 基本診療科	87.5%	83.3%	80.0%
B 医学管理等	76.9%	46.2%	63.6%	B 医学管理等	91.7%	53.8%	72.7%
C 在宅医療	54.5%	45.5%	40.6%	C 在宅医療	66.7%	35.3%	50.0%
D 検査	65.7%	32.8%	46.0%	D 検査	65.9%	41.2%	48.4%
E 画像	100.0%	60.0%	70.0%	E 画像	90.9%	60.0%	80.0%
F 投薬	100.0%	25.0%	33.3%	F 投薬	100.0%	25.0%	33.3%
G 注射	62.5%	50.0%	76.9%	G 注射	62.5%	66.7%	84.6%
H リハビリテーション	75.0%	62.5%	75.0%	H リハビリテーション	85.7%	42.9%	87.5%
I 精神	66.7%	71.4%	50.0%	I 精神	54.5%	50.0%	50.0%
J 処置	66.3%	46.7%	67.1%	J 処置	63.2%	49.4%	62.9%
K 手術	76.1%	45.2%	73.6%	K 手術	76.8%	50.0%	70.0%
L 麻酔	60.0%	42.9%	58.3%	L 麻酔	78.6%	46.2%	81.8%
M 放射線治療	100.0%	40.0%	100.0%	M 放射線治療	100.0%	75.0%	100.0%
N 病理診断	100.0%	42.9%	85.7%	N 病理診断	87.5%	71.4%	100.0%

・SCRが100以上の項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:545(73.3%)、外来:232(43.5%)、入院+外来:255(60.7%)

[北九州]入院:535(74.1%)、外来:242(47.5%)、入院+外来261(62.4%)

・A~Nの分野ごとに見ると、北九州区域では「投薬」「放射線治療」が全て100以上で、「医学管理等」の割合も高い

7. SCRの状況 (SCRが90未満の項目の割合)

Standardized Claim-data Ratio: レセプト上に現れる各診療行為の算定回数を、都道府県の年齢構成の違いを調整し、出現比として指数化したもの

全国平均と同じ診療回数が行われた場合には指数が100となる

(県全体)	入院	外来	入院+外来	(北九州地域)	入院	外来	入院+外来
A 基本診療科	10.3%	33.3%	20.0%	A 基本診療科	10.9%	16.7%	20.0%
B 医学管理等	23.1%	46.2%	27.3%	B 医学管理等	0.0%	38.5%	27.3%
C 在宅医療	36.4%	36.4%	37.5%	C 在宅医療	30.3%	45.1%	34.4%
D 検査	24.1%	47.0%	38.1%	D 検査	31.8%	45.0%	37.3%
E 画像	0.0%	20.0%	20.0%	E 画像	9.1%	20.0%	20.0%
F 投薬	0.0%	75.0%	33.3%	F 投薬	0.0%	75.0%	66.7%
G 注射	31.3%	31.3%	15.4%	G 注射	31.3%	26.7%	7.7%
H リハビリテーション	25.0%	25.0%	25.0%	H リハビリテーション	14.3%	28.6%	12.5%
I 精神	33.3%	21.4%	37.5%	I 精神	45.5%	50.0%	50.0%
J 処置	25.0%	42.2%	22.9%	J 処置	35.5%	44.8%	30.0%
K 手術	13.7%	43.9%	15.5%	K 手術	18.4%	44.0%	19.1%
L 麻酔	33.3%	57.1%	41.7%	L 麻酔	21.4%	30.8%	9.1%
M 放射線治療	0.0%	60.0%	0.0%	M 放射線治療	0.0%	0.0%	0.0%
N 病理診断	0.0%	28.6%	0.0%	N 病理診断	0.0%	14.3%	0.0%

・SCRが90を下回る項目数は、以下のとおり(A~Nの全数)

[県全体]入院:137(18.4%)、外来:226(42.4%)、入院+外来:112(26.7%)

[北九州]入院:162(22.4%)、外来:215(42.2%)、入院+外来:115(27.5%)

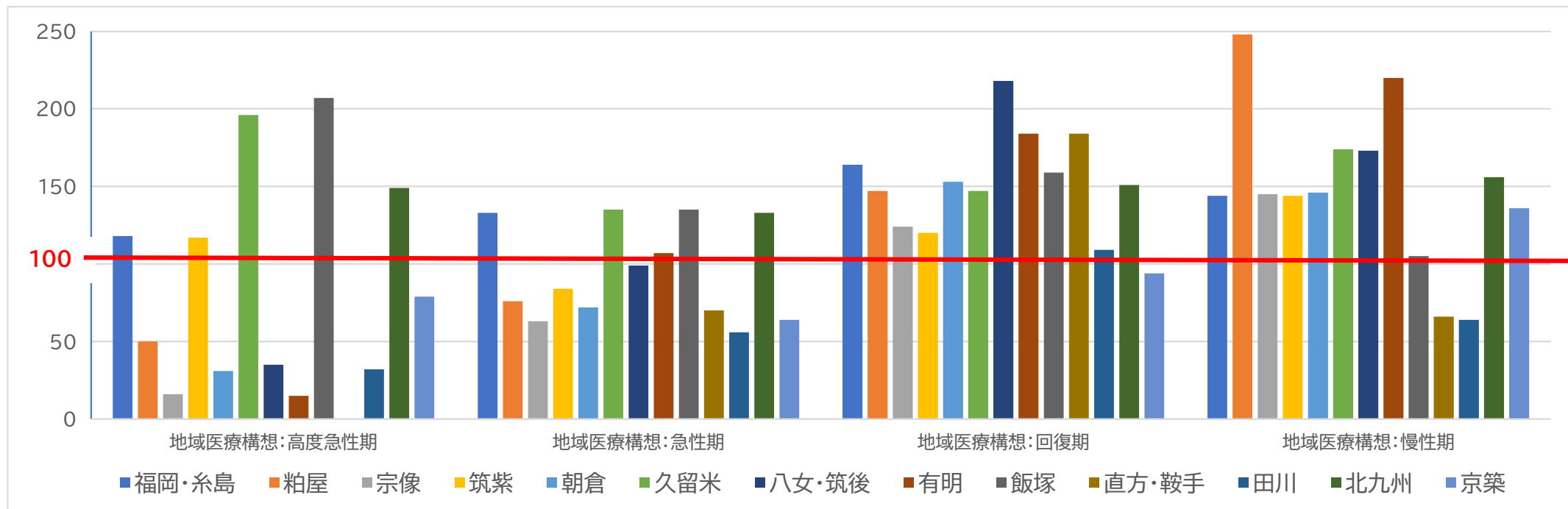
・北九州区域では、多くの分野で90を下回る項目が少ない傾向がある

7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較①)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)

(独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
地域医療構想:高度急性期	118	50	16	117	31	196	35	15	207		32	149	79
地域医療構想:急性期	133	76	63	84	72	135	99	107	135	70	56	133	64
地域医療構想:回復期	164	147	124	120	153	147	218	184	159	184	109	151	94
地域医療構想:慢性期	144	248	145	144	146	174	173	220	105	66	64	156	136

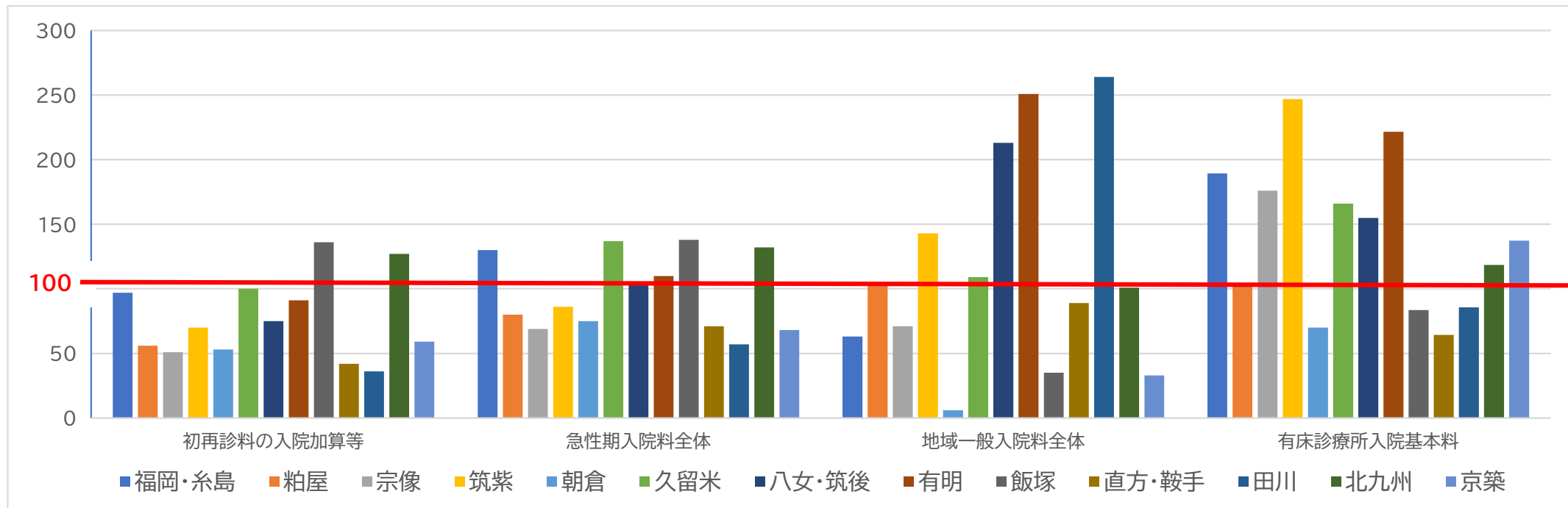


7. SCRの状況 (各圏域ごとの比較②)

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)

(独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

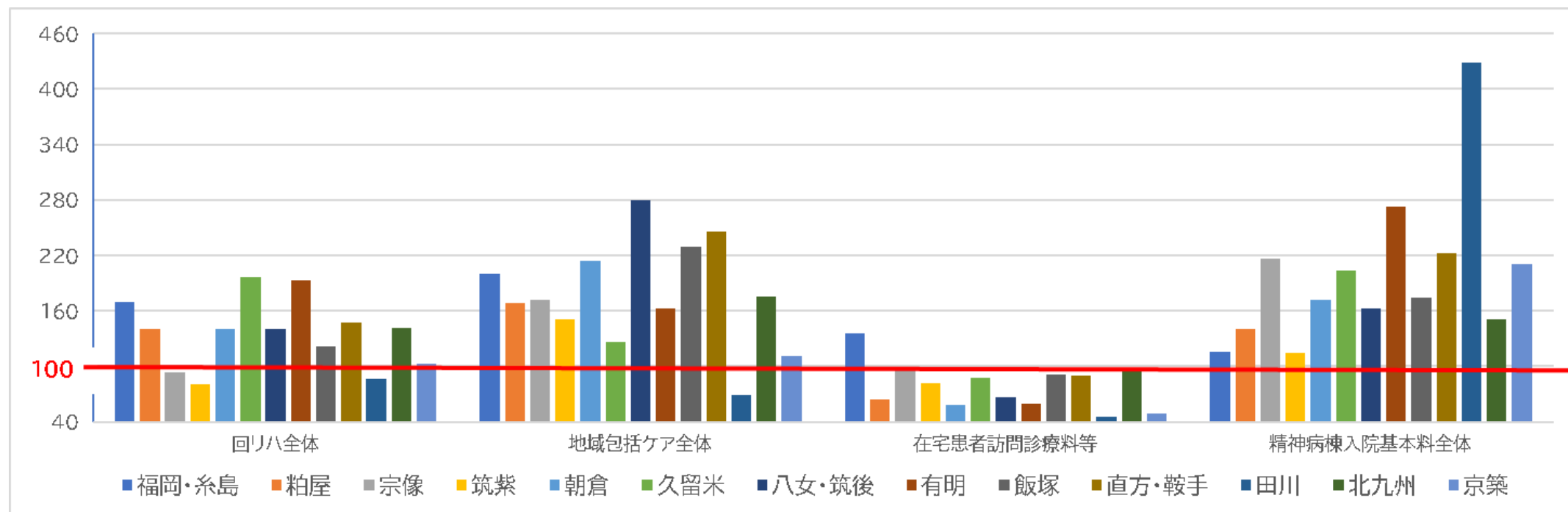
	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
初再診料の入院加算等	97	56	51	70	53	100	75	91	136	42	36	127	59
急性期入院料全体	130	80	69	86	75	137	105	110	138	71	57	132	68
地域一般入院料全体	63	103	71	143	6	109	213	251	35	89	264	101	33
有床診療所入院基本料	190	103	176	247	70	166	155	222	84	64	86	119	137



7. SCRの状況（各圏域ごとの比較③）

※ 内閣府令和4年度診療分・二次医療圏別診療行為特別集計(東北大学藤森教授)
 (独自の指標を作成し、それぞれ関連する診療行為コードを集計し、数値化したもの)

	福岡・糸島	粕屋	宗像	筑紫	朝倉	久留米	八女・筑後	有明	飯塚	直方・鞍手	田川	北九州	京築
回り八全体	170	140	94	80	140	196	140	193	122	147	86	141	103
地域包括ケア全体	200	168	172	151	214	126	280	163	229	246	69	175	111
在宅患者訪問診療料等	136	64	99	82	58	88	66	60	91	90	46	98	49
精神病棟入院基本料全体	116	140	216	114	172	204	162	273	174	222	429	151	211

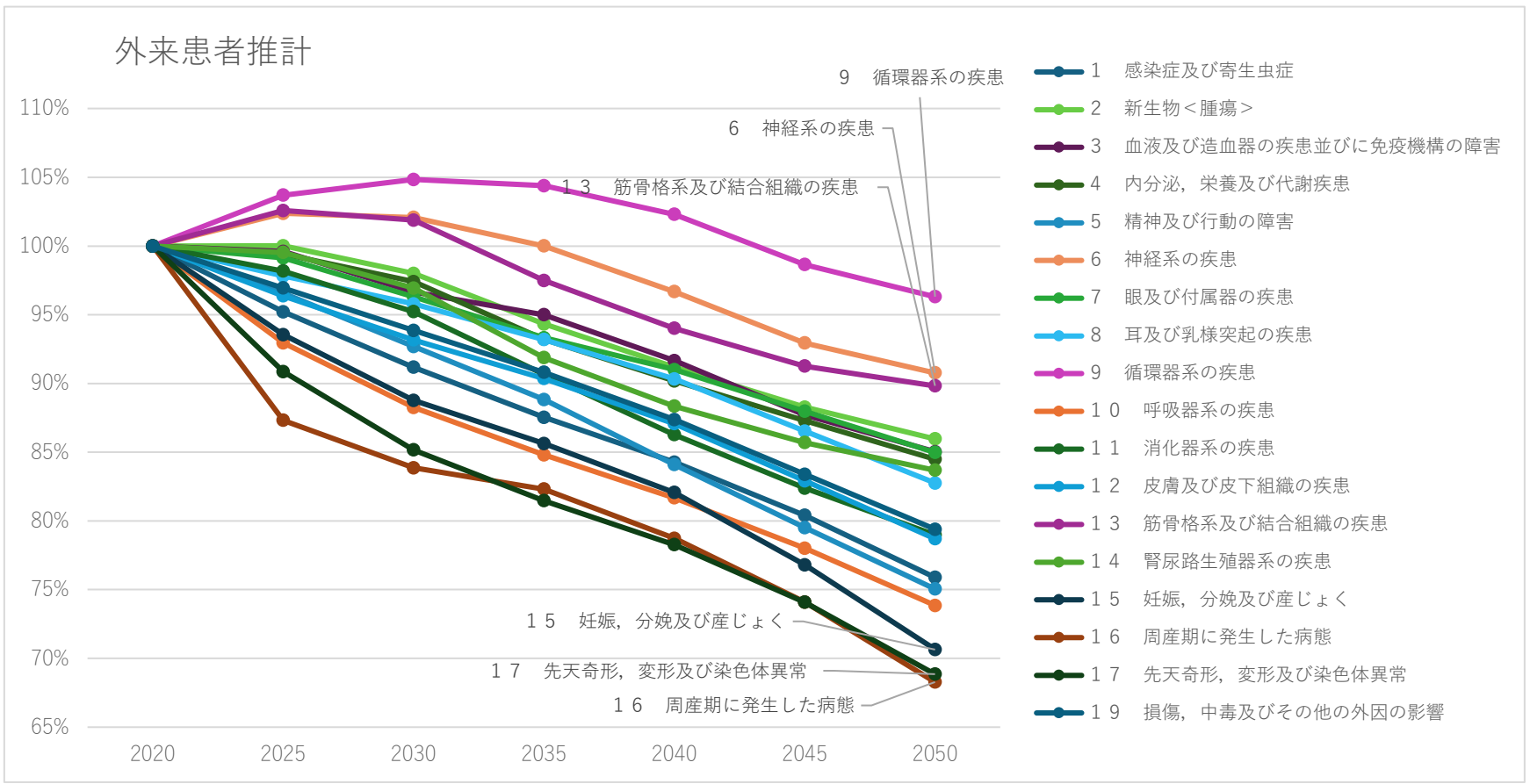


8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

北九州区域(市区町村別の患者推計は、別紙資料1を参照)

【外来患者推計】

循環器系は2030年をピークに、筋骨格系、神経系は2025年をピークに2050年頃まで減少する
それ以外については、2020年がピークで、漸次減少する見込み



2020年を基準とした外来患者総数は、概ね減少傾向で推移するものと思料

・減少率が低い主な疾患は、以下のとおり

- 系列9〔循環器系の疾患〕
(対応する診療科)
→循環器内科、心臓血管外科
- 系列6〔神経系の疾患〕
(対応する診療科)
→神経内科、脳神経外科
- 系列13〔筋骨格系及び結合組織の疾患〕
(対応する診療科)
→外科、整形外科、リウマチ科

・減少率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列16〔周産期に発生した病態〕
- 系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕
(対応する診療科)
→産婦人科、産科、婦人科
- 系列17〔先天奇形、変形及び染色体異常の疾患〕
(対応する診療科)
→小児科、小児外科
- 科系列10〔呼吸器系の疾患〕
(対応する診療科)
→呼吸器内科、呼吸器外科
- 系列5〔精神及び行動の障害の疾患〕
(対応する診療科)
→精神科、心療内科

8. 患者推計 (産業医科大学:地域別人口変化分析ツールAll Japan Areal Population-change Analyses(AJAPA))

【入院患者推計】

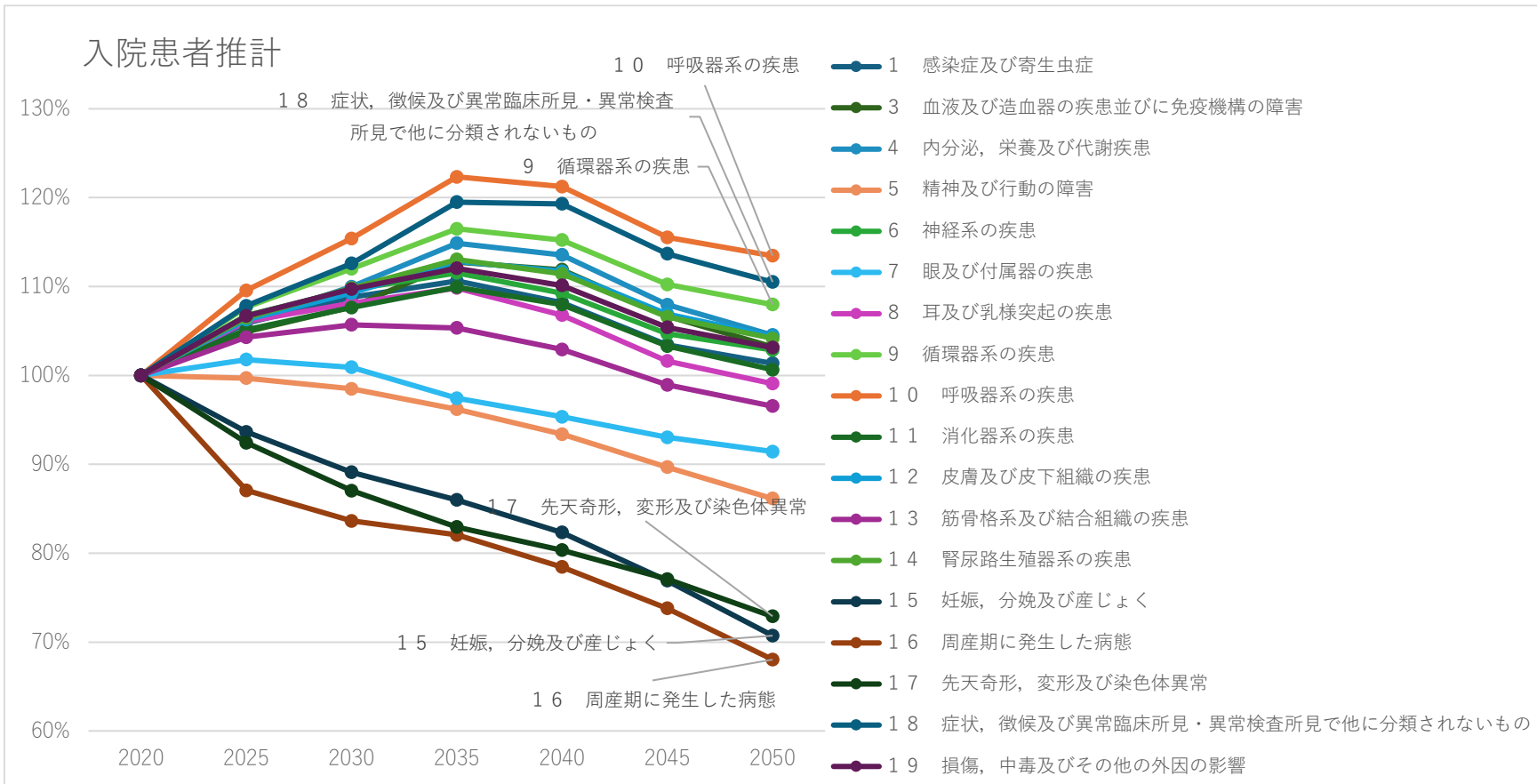
呼吸器、循環器、内分泌、栄養及び代謝疾患、皮膚科、腎尿路などは2035年頃がピークで、以降、減少に転じるが、患者数は2020年よりも増加する見込み
 周産期、妊娠・分娩系、小児科、精神科、眼科は、漸次減少していく見込み

・2050年時点で、増加率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列10〔呼吸器系の疾患〕
(対応する診療科)
→呼吸器内科、呼吸器外科
- 系列9〔循環器系の疾患〕
(対応する診療科)
→循環器内科、心臓血管外科
- 系列4〔内分泌、栄養及び代謝疾患〕
(対応する診療科)
→糖尿病内科(代謝内科)
- 系列12〔皮膚及び皮下組織の疾患〕
(対応する診療科)
→皮膚科
- 系列14〔腎尿路生殖器系の疾患〕
(対応する診療科)
→腎臓内科、泌尿器科、婦人科

・2050年時点で、減少率が大きい主な疾病は、次のとおり

- 系列16〔周産期に発生した病態〕
- 系列15〔妊娠、分娩及び産じょく〕
→産婦人科、産科、婦人科
- 系列17〔先天奇形、変形及び染色体異常の疾患〕
(対応する診療科)
→小児科、小児外科
- 系列6〔精神科及び行動の障害〕
(対応する診療科)
→精神科、心療内科
- 系列7〔目及び付属器mp疾患〕
(対応する診療科)
→眼科



9. 医療従事者数〔医師〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）※人口：福岡県人口移動調査（R4.12.1）

		医師数	人口10万人当たり
北九州市	病院	3,358	363.4
	診療	2,414	261.2
門司区	病院	944	102.1
	診療	385	422.5
若松区	病院	300	329.2
	診療	85	93.3
戸畑区	病院	149	188.5
	診療	74	93.6
小倉北区	病院	75	94.9
	診療	187	332.1
小倉南区	病院	126	223.8
	診療	61	108.3
八幡東区	病院	896	494.6
	診療	677	373.7
八幡西区	病院	219	120.9
	診療	349	168.9
中間市	病院	196	94.9
	診療	153	74.0
芦屋町	病院	376	593.7
	診療	260	410.6
水巻町	病院	116	183.2
	診療	781	316.8
岡垣町	病院	1,016	412.1
	診療	235	95.3
遠賀町	病院		
	診療		
北九州計			
福岡県計			

		医師数	人口10万人当たり
中間市	病院	42	107.0
	診療	9	22.9
芦屋町	病院	33	84.1
	診療	27	205.8
水巻町	病院	22	167.7
	診療	5	38.1
岡垣町	病院	75	268.3
	診療	54	193.2
遠賀町	病院	21	75.1
	診療	34	109.7
北九州計	病院	15	48.4
	診療	19	61.3
福岡県計	病院	45	240.9
	診療	36	192.7
北九州計		3,581	339.7
福岡県計		2,550	241.9
		1,031	97.8
		15,968	312.0
		11,025	215.4
		4,943	96.6

◆医師偏在指標及び県内・全国順位（県内二次保健医療圏、周産期医療圏、小児科）

		医師偏在指標			
		数値	県内順位	全国順位	
医師全体	福岡県	313.3	—	3/47	
	宗像	198.4	10/13	168/330	
	直方・鞍手	184.4	12/13	205/330	
	田川	197.4	11/13	171/330	
	北九州	301.6	4/13	38/330	
産科	京築	151.6	13/13	288/330	
	福岡県	11.0	—	12/47	
	福岡	10.4	3/4	94/258	
	筑後	11.6	2/4	71/258	
	筑豊	8.7	4/4	147/258	
小児科	北九州	12.7	1/4	53/258	
	福岡県	122.0	—	16/47	
	宗像	96.8	7/13	182/303	
	直方・鞍手	81.5	12/13	251/303	
	田川	119.8	6/13	103/303	
		北九州	132.7	2/13	58/303
		京築	40.8	13/13	302/303

「福岡県医師確保計画（令和6年3月）「医師偏在指標及び県内・全国順位」から抜粋」

- ・人口10万人当たりの医師数で100を切っている市町はない
- ・医師偏在指標を見ても、北九州区域は、医師全体が県で4位、全国で38位と上位にある
- ・小児科医師についても、北九州区域は、県で2位、全国で58位と上位にある

9. 医療従事者数〔医師〕 診療所開設者年齢ピラミッド「公衆衛生等に係る医療の提供状況」(令和5年9月福岡県医療指導課)

年齢階級	宗像	直方・鞍手	田川	北九州	京築	福岡県
90 -	0	0	0	6	2	23
85 - 89	5	1	2	3	2	43
80 - 84	4	1	2	18	0	74
75 - 79	3	8	6	39	9	208
70 - 74	5	9	13	88	11	466
65 - 69	6	16	15	138	17	550
60 - 64	24	10	11	117	21	544
55 - 59	6	4	3	102	16	419
50 - 54	8	4	10	74	12	321
45 - 49	11	2	2	30	5	243
40 - 44	1	2	1	30	5	121
35 - 39	0	3	1	5	0	31
30 - 34	2	0	0	0	1	9
- 29	0	0	0	0	0	1
Total	75	60	66	650	101	3,053

- ・診療所開設者の年齢ピラミッドを見ると、「65-69」がボリュームゾーンとなっている次いで「60-64」、「55-59」となっている
- ・医師不足や後継者確保(継承)の困難さを鑑みると、10年後、20年後の体制を考えておく必要があるのではないか

10. 医療従事者数〔医師・診療科①〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

外来
入院

		減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少 減少	減少	減少		減少 減少	減少 減少	減少 増加	減少 減少	減少	減少	
	内科	整形外科	外科	小児科	精神科	循環器内科	消化器内科 (胃腸内科)	臨床研修医	麻酔科	眼科	産婦人科	呼吸器内科	耳鼻 いんこう科	皮膚科	脳神経外科
北九州市	568	253	199	183	172	174	157	148	127	121	121	82	78	78	69
門司区	68	45	39	9	21	15	26	19	12	11	8	7	6	10	9
若松区	36	17	7	4	15	5	7	-	4	7	4	6	4	4	1
戸畑区	51	20	13	6	4	7	13	4	4	9	1	3	4	4	4
小倉北区	154	51	72	23	34	62	36	50	47	26	27	23	22	22	26
小倉南区	84	31	13	46	35	11	13	8	6	18	22	2	6	8	5
八幡東区	53	22	20	38	7	21	6	25	13	8	3	8	6	11	5
八幡西区	122	67	35	57	56	53	56	42	41	42	56	33	30	19	19
中間市	16	5	5	2	2	-	-	-	-	3	3	-	1	2	-
芦屋町	7	4	3	-	-	1	4	-	-	-	1	1	-	-	-
水巻町	17	7	2	3	1	-	5	8	2	2	1	-	2	-	7
岡垣町	12	2	1	1	6	1	2	-	-	2	-	-	1	1	-
遠賀町	6	7	7	3	-	2	4	-	3	1	-	-	1	1	2
北九州	626	278	217	192	181	178	172	156	132	129	126	83	83	82	78

※スライド21・22を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）は「増加」、減少していく見込みの診療科は「減少」としている

10. 医療従事者数〔医師・診療科②〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

外来
入院

減少

減少

減少

減少

減少

減少

減少
増加

減少
減少

減少

減少

	泌尿器科	放射線科	腎臓内科	糖尿病内科 (代謝内科)	脳神経内科	リハビリテー ション科	血液内科	形成外科	消化器外科 (胃腸外科)	呼吸器外科	リウマチ科	救急科	病理診断科	心臓血管 外科	婦人科
北九州市	72	66	63	53	51	44	38	36	33	34	31	27	26	26	23
門司区	9	11	9	8	8	3	1	2	-	2	3	2	3	1	3
若松区	5	1	4	2	1	3	4	-	2	-	2	-	-	-	1
戸畑区	3	5	2	3	1	3	-	4	8	1	1	-	1	1	2
小倉北区	20	20	16	15	6	14	13	15	6	11	4	15	6	11	7
小倉南区	4	2	5	4	4	1	-	1	-	-	-	-	1	-	2
八幡東区	7	7	10	5	14	4	-	5	5	2	-	2	3	1	3
八幡西区	24	20	17	16	17	16	20	9	12	18	21	8	12	12	5
中間市	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
芦屋町	1	1	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水巻町	3	2	2	1	-	1	1	1	3	-	-	1	1	-	-
岡垣町	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1
遠賀町	-	1	-	2	1	2	-	-	-	1	-	1	-	-	-
北九州	77	70	66	59	53	51	39	37	36	35	31	29	27	26	24

※スライド21・22を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）は「増加」、減少していく見込みの診療科は「減少」としている

10. 医療従事者数〔医師・診療科③〕（令和4年「医師・歯科医師・薬剤師調査」）

外来
入院

減少

減少
減少

減少
減少

減少

減少

	集中治療科	乳腺外科	心療内科	小児外科	美容外科	臨床検査科	感染症内科	肛門外科	アレルギー科	全科	その他	不詳
北九州市	18	12	11	11	10	9	4	4	2	1	103	20
門司区	-	1	2	-	-	1	-	-	-	-	10	1
若松区	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1
戸畑区	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	1
小倉北区	3	2	5	3	9	1	3	2	2	-	9	3
小倉南区	-	2	-	4	1	3	-	-	-	-	1	6
八幡東区	1	2	1	1	-	2	-	-	-	-	50	5
八幡西区	14	5	3	3	-	2	1	1	-	1	28	3
中間市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
芦屋町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
水巻町	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡垣町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遠賀町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北九州	18	13	11	11	10	10	4	4	2	1	104	20

令和6年3月に策定した「福岡県外来医療計画」の構想区域の主な意見

- ・戸畑区では医師の高齢化に伴い、周産期医療の担い手が少なくなっている
- ・門司区では小児科が不足している
- ・圏域西部では、小児救急の時間外の対応を担う医師が不足している
- ・全体的に学校医(耳鼻科・眼科)が不足している
- ・全体的に産科が不足している

※スライド21・22を基に、今後患者が増えていく見込みの診療科（入院・外来）は「増加」、減少していく見込みの診療科は「減少」としている

11. 医療従事者数〔常勤医師〕（令和5年度「病床機能報告」）

北九州地区は件数が多いため、別紙資料2を参照

12. 医療介護資源の状況 (日医総研ワーキングペーパー(2023年4月第6版))

●【地域の概要】

一人当たり医療費(国保):409千円(偏差値58)

一人当たり介護給付費:285千円(偏差値57)

●【医療の現状】

病院数:103、人口10万人当たり9.6(偏差値57)

診療所数:1,043、人口10万人当たり97(偏差値58)

総医師数:4,541、人口10万人当たり424(偏差値62)

専門医数

小児科:143、人口10万人当たり13.4(偏差値54)

産婦人科:119、人口10万人当たり11.1(偏差値54)

総合内科:354、人口10万人当たり33.1(偏差値55)

看護師数:16,061、人口10万人当たり1,500(偏差値70)

●【介護施設や在宅ケアの現状】

高齢者施設・住宅定員数:17,939、75歳以上1,000人当たり100(偏差値52)

(うち、介護保険施設定員:10,507、75歳以上1,000人当たり58(偏差値52))

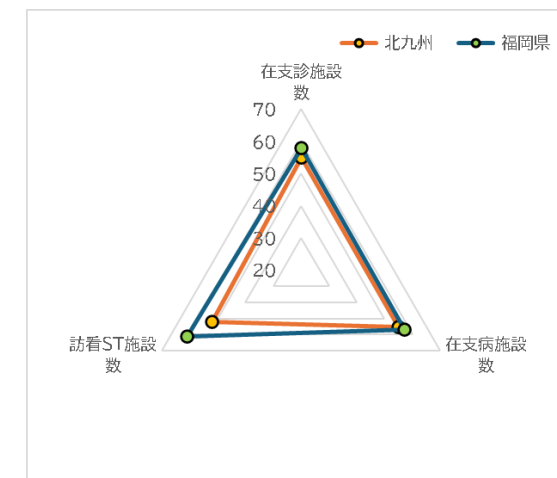
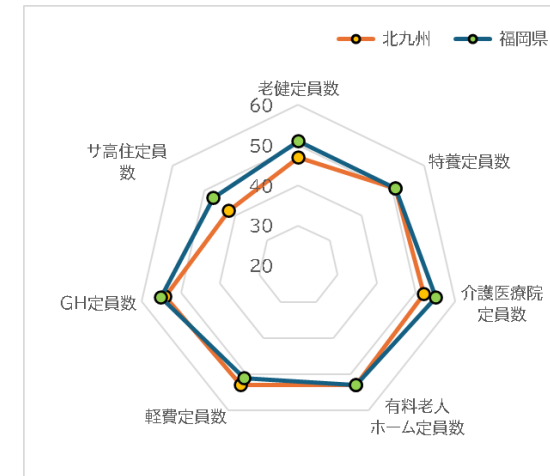
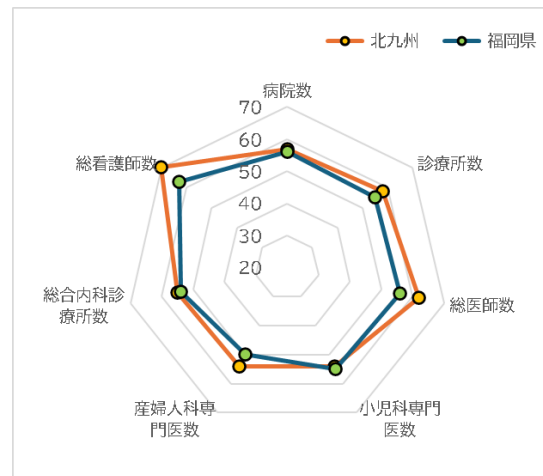
(うち、高齢者住宅定員:7,432、75歳以上1,000人当たり41(偏差値50))

介護職員数:12,896、75歳以上1,000人当たり72(偏差値50)

施設別定員数:老健施設3,238(偏差値47)、特養6,068(偏差値51)、介護医療院533(偏差値52)

(75歳以上1,000人当たり)有料16.7(偏差値53)、軽費1.9(偏差値53)、GH13.8(偏差値54)、サ高住8.9(偏差値42)

在宅ケア(施設数):在支診187(偏差値55)、在支病23(偏差値55)、訪看ST147(偏差値52)



12. 医療介護資源の状況 (厚生労働省「医療施設調査」)

●医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)(在宅療養支援診療所H26→R5推移)(訪問看護STIはH29→R7推移)

医療施設数等	病院	一般診療所		在宅療養支援診療所	訪問看護ステーション
福岡県	461 → 453	4,654 → 4,806	866 → 767	493 → 1,086	
宗像	14 → 14	117 → 117	20 → 18	10 → 22	
直方・鞍手	12 → 12	103 → 100	19 → 18	11 → 25	
田川	16 → 16	108 → 113	17 → 17	24 → 47	
北九州	102 → 101	1,062 → 1,044	211 → 180	102 → 234	
京築	15 → 14	160 → 157	30 → 22	24 → 37	

出所:病院、診療所数は厚生労働省「医療施設調査(動態)(平成28年10月1日現在)」、「医療施設調査(静態・動態)(令和5年10月1日現在)」

出所:在宅療養支援診療所数は厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(平成26年、令和5年10月1日現在)」

出所:訪問看護ステーション数は県医療指導課データ

※1 在宅療養支援診療所数は、平成26年4月、令和5年4月現在診療報酬施設基準による

※2 訪問看護ステーションは、平成29年4月1日現在、令和7年7月1日現在の介護保険法に基づく指定数

●小児科標榜医療機関数(H26→R2推移)

	医療機関数				小児人口10万人対 医療機関数
	病院		診療所		
福岡県	361 → 361	96 → 97	265 → 264	53.4 → 55.9	
宗像	12 → 11	2 → 2	10 → 9	55.9 → 45.3	
直方・鞍手	10 → 11	3 → 3	7 → 8	74.3 → 86.4	
田川	10 → 9	6 → 5	4 → 4	62.7 → 62.5	
北九州	71 → 72	24 → 26	47 → 46	52.1 → 65.8	
京築	9 → 10	2 → 3	7 → 7	37.3 → 43.4	

出所:「医療施設調査」(平成26年、令和2年)

※診療所は、「小児科が主たる診療科」+「小児科単科」。

●市区町別医療施設数(病院、一般診療所H28→R5推移)

	病院数		一般診療所数	
	平成28年	令和5年	平成28年	令和5年
北九州市	90 → 90	90	961 → 941	941
門司区	11 → 11	11	102 → 102	102
若松区	5 → 5	5	85 → 82	82
戸畑区	4 → 5	5	56 → 58	58
小倉北区	22 → 21	21	238 → 229	229
小倉南区	18 → 18	18	172 → 165	165
八幡東区	7 → 7	7	81 → 74	74
八幡西区	23 → 23	23	227 → 231	231
中間市	2 → 1	1	34 → 32	32
芦屋町	1 → 1	1	9 → 10	10
水巻町	3 → 3	3	21 → 23	23
岡垣町	2 → 2	2	24 → 25	25
遠賀町	4 → 4	4	13 → 13	13
北九州	102 → 101	101	1,062 → 1,044	1,044

●分娩取扱医療機関数(H26→R5推移)

医療施設数等	病院	診療所
福岡県	34 → 28	88 → 63
宗像	1 → 0	4 → 3
直方・鞍手	0 → 0	1 → 1
田川	2 → 2	0 → 0
北九州	10 → 8	18 → 9
京築	0 → 0	4 → 3

出所:厚生労働省「医療施設調査(静態・動態)(各年10月1日現在)」(平成26年、令和5年)による

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●看護師数(総数、病院看護師数、診療所看護師数)※令和2年10月

二次医療圏	総看護師数	人口 10万人当たり	病院 看護師数	人口 10万人当たり	診療所 看護師数	人口 10万人当たり
福岡・糸島	20,608	1,204	15,650	915	4,958	290
粕屋	3,095	1,057	2,496	852	599	204
宗像	1,595	972	1,200	731	395	241
筑紫	3,520	801	2,567	584	953	217
朝倉	862	1,054	652	797	210	257
久留米	6,953	1,535	5,552	1,226	1,401	309
八女・筑後	1,831	1,415	1,407	1,087	424	327
有明	3,687	1,742	2,927	1,383	760	359
飯塚	2,903	1,661	2,340	1,340	562	322
直方・鞍手	1,234	1,178	952	909	282	270
田川	1,784	1,512	1,377	1,167	407	345
北九州	16,061	1,500	12,881	1,203	3,179	297
京築	1,912	1,043	1,379	752	533	291
福岡県	66,044	1,286	51,381	1,001	14,663	286
全国	1,164,671	923	918,226	728	246,444	195

出典：厚生労働省「令和2年医療施設静態調査」

・総看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、北九州区域は、県全体、全国よりも多い状況となっている

・勤務場所別で見ると、人口10万人当たり病院看護師は、県全体、全国よりも多い状況となっている

・人口10万人当たり診療所看護師は、県全体、全国よりも多い状況となっている

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 (施設)	75歳以上 1,000人当たり	看護師数 (訪問)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	2,649	14.4	1,415	7.7	1235	6.7
粕屋	557	16.8	445	13.4	112	3.4
宗像	227	9.5	162	6.8	65	2.7
筑紫	498	9.8	269	5.3	228	4.5
朝倉	151	10.8	114	8.2	37	2.6
久留米	796	11.9	416	6.2	380	5.7
八女・筑後	256	11.7	174	8.0	82	3.8
有明	469	11.5	360	8.9	109	2.7
飯塚	370	12.7	255	8.8	115	3.9
直方・鞍手	307	15.6	194	9.8	114	5.8
田川	394	17.4	220	9.7	175	7.7
北九州	1,883	10.5	1,179	6.6	704	3.9
京築	394	12.9	294	9.6	101	3.3
福岡県	8,952	12.5	5,497	7.7	3455	4.8
全国	188,635	10.1	119,762	6.4	68873	3.7

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事看護師数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、北九州区域は、県全体よりも少なく、全国よりも多い状況となっている

・75歳以上1,000人当たり従事者数を勤務場所別で見ると、介護施設は6.6人と県全体よりも少なく、全国よりも多い状況となっている

・訪問看護は、3.9人と介護施設同様、県全体よりも少なく、全国よりも多い状況となっている

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（日医総研ワーキングペーパー（2023年4月第6版））

●介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）※令和4年5月 常勤換算

二次医療圏	介護サービス従事 介護職員数	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (介護施設等)	75歳以上 1,000人当たり	介護職員数 (在宅)	75歳以上 1,000人当たり
福岡・糸島	16,014	87.0	13,038	71.0	2976	16.2
粕屋	2,315	70.0	2,038	62.0	277	8.4
宗像	1,758	74.0	1,559	66.0	199	8.4
筑紫	3,653	72.0	3,131	62.0	523	10.3
朝倉	1282	92.0	1226	88.0	56	4.0
久留米	6,182	93.0	5,517	83.0	665	10.0
八女・筑後	2,199	101.0	1,964	90.0	235	10.8
有明	3,884	96.0	3,376	83.0	508	12.5
飯塚	2,833	97.0	2,361	81.0	472	16.2
直方・鞍手	2,005	102.0	1753	89.0	252	12.8
田川	3,189	141.0	2,600	115.0	588	26.0
北九州	15,195	84.0	12,896	72.0	2299	12.8
京築	2,565	84.0	2,252	73.0	313	10.2
福岡県	63,075	88.0	53,711	75.0	9364	13.1
全国	1,556,622	84.0	1,327,531	71.0	229090	12.3

出典：厚生労働省「介護サービス情報公表システム」（令和4年5月）

・介護サービス従事介護職員数の75歳以上1,000人当たり人数を見ると、北九州区域は、県全体よりも少なく、全国と同程度となっている

・75歳以上1,000人当たり人数を勤務場所別で見ると、介護施設等は72.0人と県全体よりも少なく、全国よりも多い状況となっている

在宅については、12.8人と県全体よりも少なく、全国よりも多い状況となっている

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

●就業場所別の看護師数

福岡県	看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	65,134	1,273.1		47,399	9,078	3,126	3,279	419	1,833
福岡・糸島	20,818	1,202.5	32.0%	15,150	2,901	999	1,048	134	586
粕屋	3,176	1,083.5	4.9%	2,311	443	152	160	20	89
宗像	1,740	1,050.4	2.7%	1,266	243	84	88	11	49
筑紫	3,795	859.9	5.8%	2,762	529	182	191	24	107
朝倉	871	1,079.4	1.3%	634	121	42	44	6	25
久留米	6,885	1,532.0	10.6%	5,010	960	330	347	44	194
八女・筑後	1,794	1,401.8	2.8%	1,306	250	86	90	12	50
有明	3,459	1,684.0	5.3%	2,517	482	166	174	22	97
飯塚	2,521	1,470.8	3.9%	1,835	351	121	127	16	71
直方・鞍手	1,066	1,037.8	1.6%	776	149	51	54	7	30
田川	1,378	1,207.3	2.1%	1,003	192	66	69	9	39
北九州	15,962	1,514.2	24.5%	11,616	2,225	766	804	103	449
京築	1,669	923.2	2.6%	1,215	233	80	84	11	47

・看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、北九州区域は、県平均よりもかなり多い状況となっている

・北九州区域について、就業場所別に見ると、病院が最も多く、次いで診療所、介護保険施設等となっており、病院と診療所で87%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したものの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

13. 医療介護資源の状況〔看護師数・介護職員数〕（「衛生行政報告例」）

●就業場所別の准看護師数

福岡県	准看護師								
	実数	人口10万人 当たり	割合	就業場所別 二次医療圏ごとの就業場所別人数(斜体)は推計値					
				病院	診療所	訪問看護 ステーション	介護保険 施設等	社会福祉 施設	その他
	13,995	273.6		5,542	5,445	357	2,211	288	152
福岡・糸島	2,893	167.1	20.7%	1,146	1,126	74	457	60	31
粕屋	662	225.8	4.7%	262	258	17	105	14	7
宗像	337	203.4	2.4%	133	131	9	53	7	4
筑紫	757	171.5	5.4%	300	295	19	120	16	8
朝倉	297	368.1	2.1%	118	116	8	47	6	3
久留米	1,451	322.9	10.4%	575	565	37	229	30	16
八女・筑後	542	423.5	3.9%	215	211	14	86	11	6
有明	1,198	583.2	8.6%	474	466	31	189	25	13
飯塚	786	458.6	5.6%	311	306	20	124	16	9
直方・鞍手	534	519.9	3.8%	211	208	14	84	11	6
田川	807	707.0	5.8%	320	314	21	127	17	9
北九州	3,014	285.9	21.5%	1,194	1,173	77	476	62	33
京築	717	396.6	5.1%	284	279	18	113	15	8

・准看護師数の人口10万人当たり人数を見ると、北九州区域は、県平均よりも多い状況となっている

・北九州区域について、就業場所別に見ると、病院と診療所が概ね同数で、次いで介護保険施設等となっており、病院と診療所で79%を占めている

※二次医療圏ごとの就業場所別の人数(斜体)は、就業場所別の県全体の人数に看護師実数の二次医療圏ごとの割合を掛けて推計したものの

厚生労働省「衛生行政報告例」(2022(令和4)年12月31日現在)

福岡県「人口移動調査」(2022(令和4)年10月1日現在)

14. 在宅医療の状況

福岡県在宅療養支援診療所等調査(高齢者地域包括ケア推進課)

【調査対象】

九州厚生局に在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料の届出を行っている施設

【調査時期】

毎年5月～7月頃

【回収状況】

令和5年度回答率94.9%

令和7年度回答率97.0%

【項目の説明】

訪問診療:調査対象月1ヶ月間の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

小児:調査対象月1ヶ月間の19歳以下の訪問診療患者数(医療機関所在地ベース)の実数

在宅看取り:調査前年度1年間の在宅看取り(施設看取り含む)患者数(医療機関所在地ベース)の実数

14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療機関数

	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
福岡・糸島	401	17,824	210	2,456	423	21,874	333	2,790	22	4,050	123	334	101	193	20
粕屋	50	1,154	0	249	50	1,167	12	192	0	13	12	-57	12	26	4
宗像	32	1,421	27	272	32	1,531	46	228	0	110	19	-44	6	20	1
筑紫	69	2,719	7	408	73	3,675	16	623	4	956	9	215	23	32	5
朝倉	37	571	7	79	36	728	12	97	-1	157	5	18	13	22	2
久留米	160	3,627	48	924	158	4,311	81	923	-2	684	33	-1	31	89	8
八女・筑後	45	779	2	318	45	849	1	243	0	70	-1	-75	8	22	4
有明	73	1,595	1	322	72	1,661	5	280	-1	66	4	-42	17	41	2
飯塚	40	1,715	13	485	43	1,959	23	423	3	244	10	-62	10	22	4
直方・鞍手	35	1,355	0	190	34	1,308	1	249	-1	-47	1	59	6	18	2
田川	28	931	0	74	33	1,296	2	72	5	365	2	-2	6	16	2
北九州	323	9,453	20	1,888	329	12,153	122	2,110	6	2,700	102	222	61	165	25
京築	36	810	4	336	35	1,087	9	314	-1	277	5	-22	2	28	3
総数	1,329	43,954	339	8,001	1,363	53,599	663	8,544	34	9,645	324	543	296	694	82

・北九州区域の令和5年度調査による在宅医療への今後の意向は、「現在より積極的に取り組みたい」が61件、「現状維持」が165件、「今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定」が25件という結果で、現状維持が圧倒的に多いが、令和5年度から7年度の推移を見ると、医療機関数は6件増加し、訪問診療患者数、小児患者数、在宅看取り患者数のいずれも増加している

14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療に従事する医師数(R7年度)

	医師数				医師の年齢別											
	常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+常勤 換算数		29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
福岡・糸島	849	531	89.1	620.1	7	(0.8%)	140	(16.5%)	203	(23.9%)	195	(23.0%)	175	(20.6%)	129	(15.2%)
粕屋	74	60	9.6	69.6	0	(0.0%)	3	(4.1%)	10	(13.5%)	30	(40.5%)	24	(32.4%)	7	(9.5%)
宗像	68	40	6.4	46.4	1	(1.5%)	5	(7.4%)	16	(23.5%)	26	(38.2%)	16	(23.5%)	4	(5.9%)
筑紫	178	100	18.5	118.5	5	(2.8%)	24	(13.5%)	52	(29.2%)	44	(24.7%)	33	(18.5%)	20	(11.2%)
朝倉	80	50	5.6	55.6	2	(2.5%)	13	(16.3%)	22	(27.5%)	11	(13.8%)	16	(20.0%)	16	(20.0%)
久留米	234	188	15.6	203.6	1	(0.4%)	19	(8.1%)	58	(24.8%)	55	(23.5%)	56	(23.9%)	45	(19.2%)
八女・筑後	81	63	13.0	76.0	1	(1.2%)	9	(11.1%)	18	(22.2%)	16	(19.8%)	24	(29.6%)	13	(16.0%)
有明	124	95	9.1	104.1	1	(0.8%)	10	(8.1%)	23	(18.5%)	19	(15.3%)	34	(27.4%)	37	(29.8%)
飯塚	101	56	10.0	66.0	1	(1.0%)	37	(36.6%)	18	(17.8%)	11	(10.9%)	17	(16.8%)	17	(16.8%)
直方・鞍手	46	37	2.7	39.7	0	(0.0%)	7	(15.2%)	9	(19.6%)	9	(19.6%)	12	(26.1%)	9	(19.6%)
田川	50	36	7.6	43.6	0	(0.0%)	4	(8.0%)	7	(14.0%)	16	(32.0%)	11	(22.0%)	12	(24.0%)
北九州	551	362	50.7	412.7	8	(1.5%)	78	(14.2%)	103	(18.7%)	127	(23.0%)	131	(23.8%)	104	(18.9%)
京築	81	48	6.7	54.7	0	(0.0%)	16	(19.8%)	18	(22.2%)	13	(16.0%)	17	(21.0%)	17	(21.0%)
総数	2,517	1,666	244.6	1,910.6	27	(1.1%)	365	(14.5%)	557	(22.1%)	572	(22.7%)	566	(22.5%)	430	(17.1%)

- ・在宅医療を行う医師の年齢別割合を見ると、北九州区域では、「60~69歳」が23.8%、次いで「50~59歳」が23.0%となっている
- ・今後、老年人口が増えて在宅医療への需要が高まることが見込まれるが、現在、60歳以上の医師が4割を超えていることから、年齢構成がこのまま維持されるとすると、10年後の医師の高齢化が課題となってくると思われる

14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療機関数(市区町別)

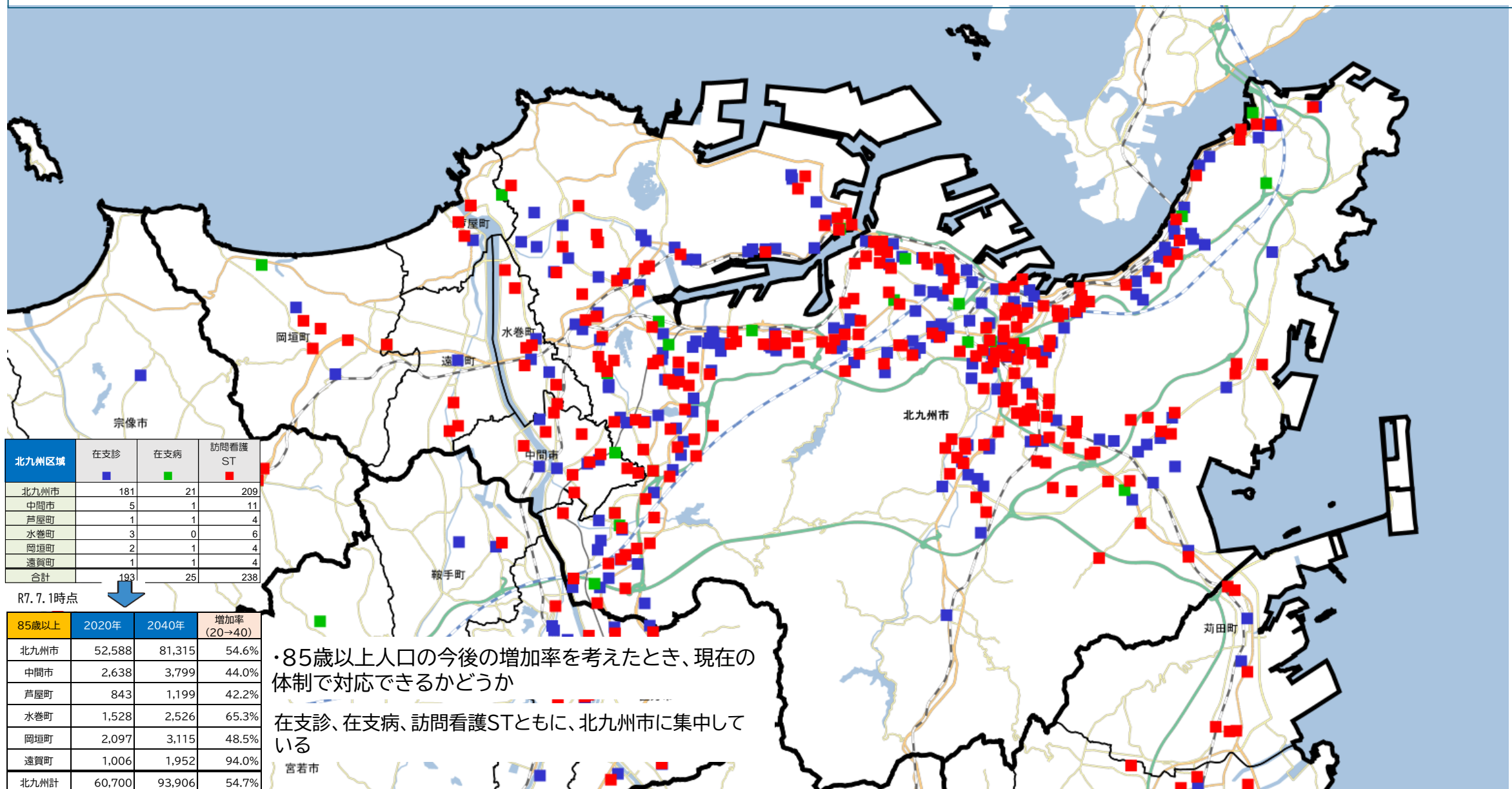
	R5年度				R7年度				R5年度→R7年度の推移				今後の意向 ※R5年度調査		
	医療機関数	患者数			医療機関数	患者数			医療機関数の増減	患者数			現在より積極的に取り組みたい	現状維持	今後は減らす、または在宅医療から撤退する予定
		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り		訪問診療	小児	在宅看取り			
北九州市	296	8,834	20	1,678	303	11,376	122	1,929	7	2,542	102	251	57	150	21
門司区	39	666	1	191	41	786	1	179	2	120	0	-12	8	22	4
若松区	31	549	0	116	34	1,016	0	224	3	467	0	108	4	20	3
戸畑区	19	424	1	87	20	503	1	108	1	79	0	21	4	9	1
小倉北区	77	2,720	12	282	75	2,780	31	297	-2	60	19	15	17	37	1
小倉南区	38	1,220	0	224	38	1,372	2	302	0	152	2	78	5	14	6
八幡東区	25	403	0	104	25	1,157	2	195	0	754	2	91	6	9	2
八幡西区	67	2,852	6	674	70	3,762	85	624	3	910	79	-50	13	39	4
中間市	8	97	0	44	7	133	0	33	-1	36	0	-11	1	6	1
芦屋町	4	17	0	16	4	31	0	10	0	14	0	-6	1	2	0
水巻町	6	159	0	57	6	179	0	54	0	20	0	-3	1	4	1
岡垣町	7	301	0	10	7	100	0	65	0	-201	0	55	1	2	1
遠賀町	2	45	0	83	2	334	0	19	0	289	0	-64	0	1	1
北九州	323	9,453	20	1,888	329	12,153	122	2,110	6	2,700	102	222	61	165	25

14. 在宅医療の状況 (高齢者地域包括ケア推進課「福岡県在宅療養支援診療所等調査」)

●在宅医療に従事する医師数(R7年度)(市区町別)

	医師数	医師の年齢別														
		常勤	非常勤 (常勤換算)	常勤+常勤 換算数	29歳以下		30~39歳		40~49歳		50~59歳		60~69歳		70歳以上	
北九州市	514	330	47.2	377.2	8	(1.6%)	76	(14.8%)	94	(18.3%)	118	(23.0%)	123	(23.9%)	95	(18.5%)
門司区	65	47	3.5	50.5	0	(0.0%)	9	(13.8%)	8	(12.3%)	13	(20.0%)	16	(24.6%)	19	(29.2%)
若松区	32	30	0.5	30.5	0	(0.0%)	1	(3.1%)	6	(18.8%)	4	(12.5%)	17	(53.1%)	4	(12.5%)
戸畑区	30	22	1.8	23.8	0	(0.0%)	3	(10.0%)	3	(10.0%)	7	(23.3%)	5	(16.7%)	12	(40.0%)
小倉北区	109	85	8.0	93.0	2	(1.8%)	11	(10.1%)	16	(14.7%)	24	(22.0%)	36	(33.0%)	20	(18.3%)
小倉南区	64	36	10.3	46.3	3	(4.7%)	8	(12.5%)	9	(14.1%)	20	(31.3%)	11	(17.2%)	13	(20.3%)
八幡東区	35	25	3.1	28.1	0	(0.0%)	5	(14.3%)	5	(14.3%)	10	(28.6%)	8	(22.9%)	7	(20.0%)
八幡西区	179	85	20.0	105.0	3	(1.7%)	39	(21.8%)	47	(26.3%)	40	(22.3%)	30	(16.8%)	20	(11.2%)
中間市	11	9	1.6	10.6	0	(0.0%)	1	(9.1%)	3	(27.3%)	1	(9.1%)	3	(27.3%)	3	(27.3%)
芦屋町	10	8	1.6	9.6	0	(0.0%)	0	(0.0%)	3	(30.0%)	3	(30.0%)	2	(20.0%)	2	(20.0%)
水巻町	5	5	0.0	5.0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	1	(20.0%)	1	(20.0%)	2	(40.0%)
岡垣町	6	5	0.3	5.3	0	(0.0%)	1	(16.7%)	1	(16.7%)	1	(16.7%)	1	(16.7%)	2	(33.3%)
遠賀町	5	5	0.0	5.0	0	(0.0%)	0	(0.0%)	1	(20.0%)	3	(60.0%)	1	(20.0%)	0	(0.0%)
北九州	551	362	50.7	412.7	8	(1.5%)	78	(14.2%)	103	(18.7%)	127	(23.0%)	131	(23.8%)	104	(18.9%)

14. 在宅医療の状況 (在支診、在支病、訪問看護STの位置)



・85歳以上人口の今後の増加率を考えたとき、現在の体制で対応できるかどうか

在支診、在支病、訪問看護STともに、北九州市に集中している

宮若市

15. 看護職員の状況

看護職員確保に係る実態調査(医療指導課医師・看護職員確保対策室)

【調査対象】

(1)施設調査:6,451施設

病院(451)、診療所(4,205)、訪問看護ステーション(984)、介護老人保健施設(173)、介護老人福祉施設(439)、介護医療院(55)、障がい児者施設(施設入所・療養介護)(144)、その他(無回答含む)(48)

(2)看護職員調査:10,208人

上記施設に勤務する看護職員

【調査方法】

対象施設に郵送により依頼し、ふくおか電子申請サービスにて回答

【調査時期】

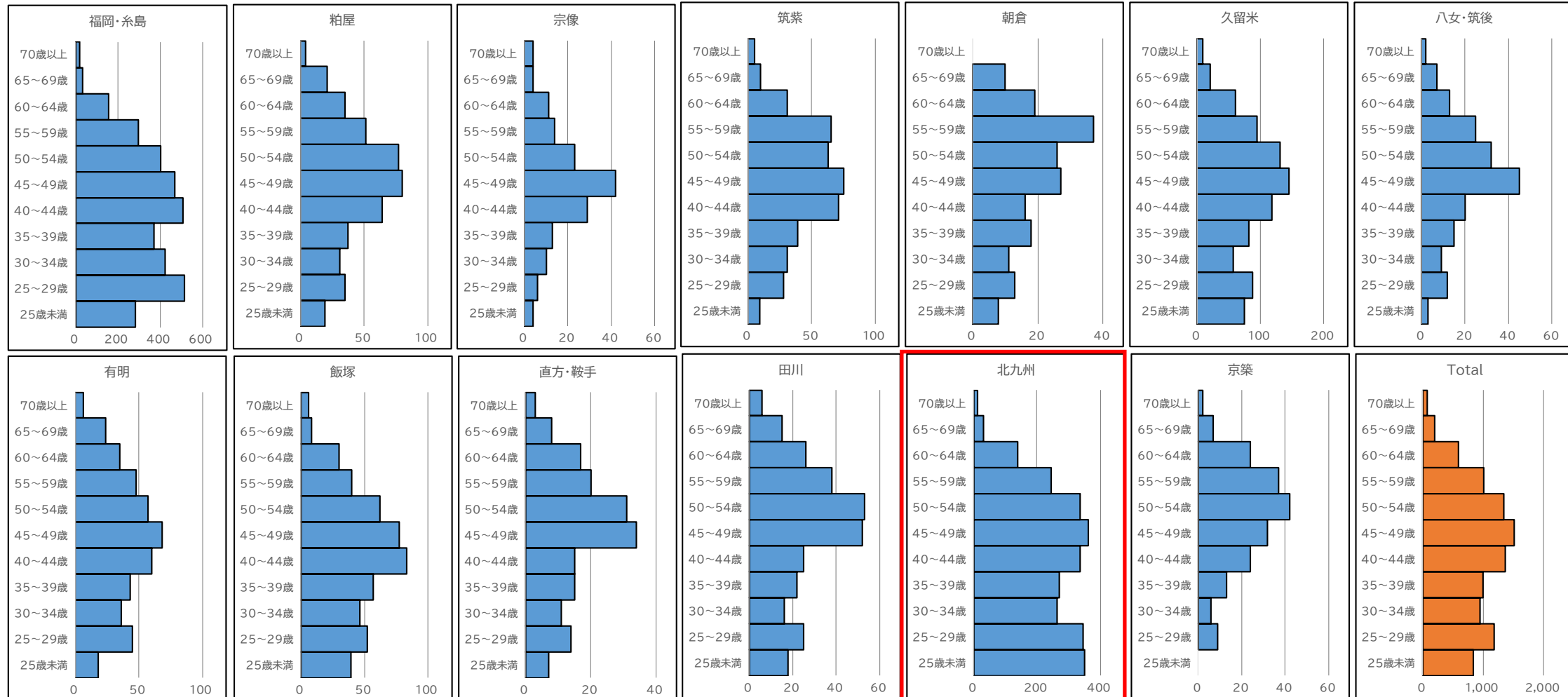
令和6年11月18日(月)～12月13日(金)

【回収状況】

施設2,201件(回収率34.1%)／看護職員回収10,208人

15. 看護職員の状況 (医療指導課医師・看護職員確保対策室看護職員確保に係る実態調査)

●二次医療圏・年齢階級別看護師数



- ・北九州区域の年齢構成ピラミッドを見ると、比較的若い年代層の割合が高く、他の区域と比べても20歳代のボリュームが厚い状況がわかる
- ・看護師確保の困難さが言及されているが、このままの年齢構成で推移するならば、今後の医療提供体制への懸念は他の地区より小さい

16. 二次医療圏の人口及び流入流出患者割合・比較表 (厚生労働省「患者調査-二次医療圏編」)

二次医療圏	人口				推計流入患者割合			推計流出患者割合		
	H28.8.1時点	R5.8.1時点	差	(増減割合)	H26調査	R5調査	差	H26調査	R5調査	差
福岡・糸島	1,648,241	1,740,857	92,616	(5.32%)	19.1	21.8	2.7	13.2	12.4	▲ 0.8
粕屋	285,000	292,622	7,622	(2.60%)	44.9	42.1	▲ 2.8	39.1	41.1	2.0
宗像	156,744	165,602	8,858	(5.35%)	35.3	33.5	▲ 1.8	34.7	40.9	6.2
筑紫	434,568	440,919	6,351	(1.44%)	33.5	30.6	▲ 2.9	37.2	40.6	3.4
朝倉	83,209	80,348	▲ 2,861	(▲3.56%)	21.3	22.5	1.2	42.1	30.0	▲ 12.1
久留米	455,840	447,316	▲ 8,524	(▲1.91%)	34.5	31.8	▲ 2.7	23.9	22.8	▲ 1.1
八女・筑後	132,283	127,106	▲ 5,177	(▲4.07%)	25.0	27.3	2.3	29.4	34.9	5.5
有明	220,974	202,644	▲ 18,330	(▲9.05%)	20.0	18.4	▲ 1.6	21.8	18.9	▲ 2.9
飯塚	180,023	170,014	▲ 10,009	(▲5.89%)	21.9	23.5	1.6	26.8	25.9	▲ 0.9
直方・鞍手	108,047	101,892	▲ 6,155	(▲6.04%)	25.0	25.8	0.8	36.5	40.4	3.9
田川	124,830	112,634	▲ 12,196	(▲10.83%)	21.1	27.3	6.2	22.4	28.4	6.0
北九州	1,091,345	1,046,238	▲ 45,107	(▲4.31%)	8.2	9.0	0.8	7.7	7.3	▲ 0.4
京築	184,053	179,800	▲ 4,253	(▲2.37%)	20.3	20.2	▲ 0.1	33.2	28.4	▲ 4.8
福岡県	5,105,157	5,107,992	2,835	(0.06%)	21.5	22.0	0.5	20.4	20.5	0.1

北九州区域は、H28年からR5年の7年間で人口が45,107人減少(4.3%減)している

北九州区域は、他区域からの流出率が低い区域であり、この7年間で推計流入患者割合は0.8ポイント増加、推計流出患者割合は0.4ポイント減少と、大きな変化は見られない

※ 人口:福岡県人口移動調査「福岡県の人口と世帯(推計)」(平成28年8月1日現在、令和5年8月1日現在)

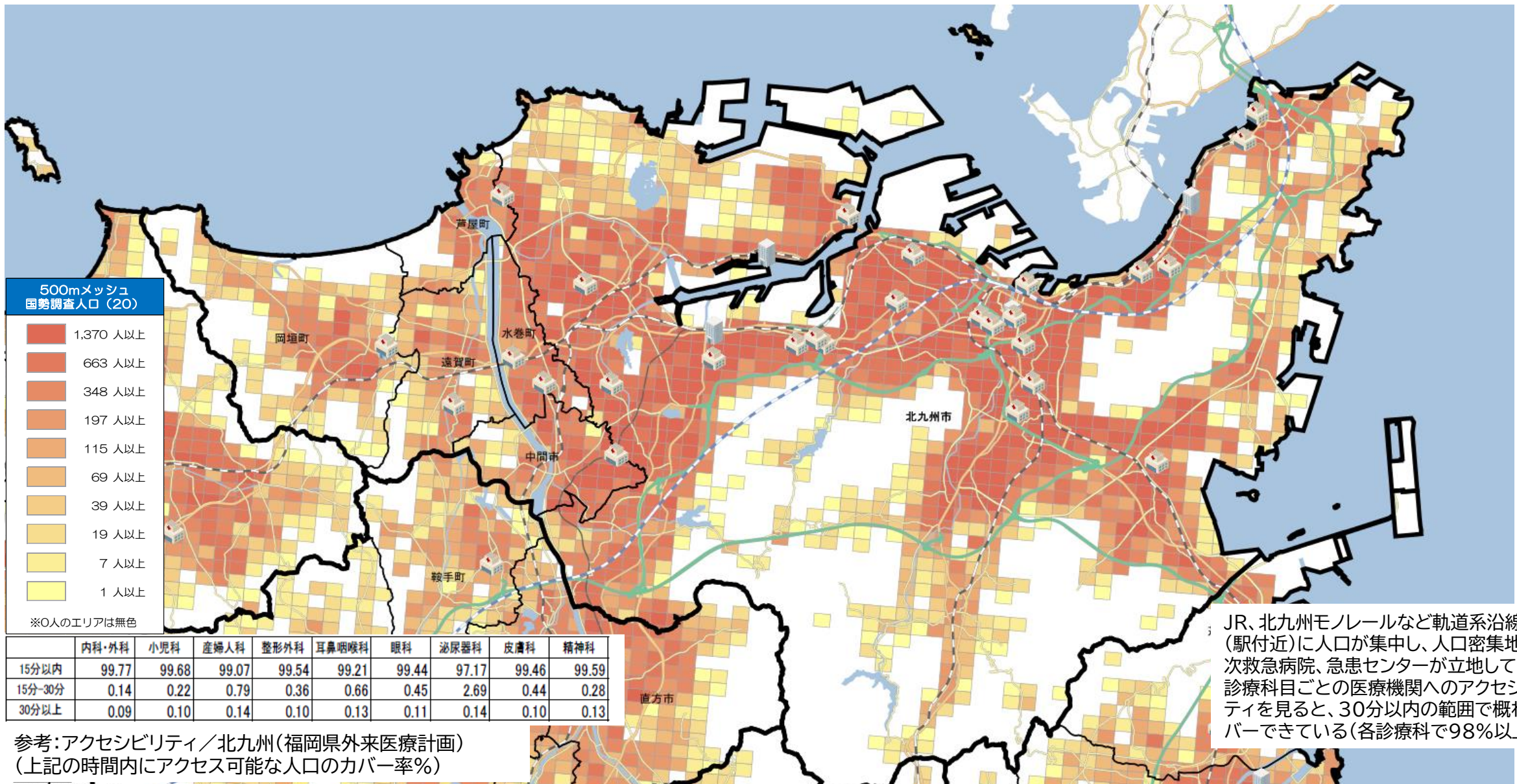
※ 推計流入患者割合、推計流出患者割合:厚生労働省「患者調査」(平成26年10月、令和5年10月)

病院の推計入院患者数の圏内への流入患者割合・圏外への流出患者割合、二次医療圏内・二次医療圏外が不詳の者を推計患者数から除いて算出

17. 二次救急及び急患センターの位置(隣接区域含む)



18. 人口メッシュ(500m) (2020(令和2年)年「国勢調査」)



19. 救急搬送の状況① (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	年齢区分					居住地		
		新生児(人、割合)	乳幼児(人、割合)	少年(人、割合)	成年(人、割合)	高齢者(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)	その他(人、割合)
北九州市消防局	51,743	226 (0.4%)	1,567 (3.0%)	1,430 (2.8%)	13,206 (25.5%)	35,314 (68.2%)	49,976 (96.6%)	1,665 (3.2%)	102 (0.2%)
中間市消防本部	2,484	9 (0.4%)	86 (3.5%)	73 (2.9%)	517 (20.8%)	1,799 (72.4%)	2,170 (87.4%)	312 (12.6%)	2 (0.1%)
遠賀郡消防本部	5,421	20 (0.4%)	207 (3.8%)	146 (2.7%)	1,241 (22.9%)	3,807 (70.2%)	4,787 (88.3%)	625 (11.5%)	9 (0.2%)
北九州区域計	59,648	255 (0.4%)	1,860 (3.1%)	1,649 (2.8%)	14,964 (25.1%)	40,920 (68.6%)	56,933 (95.4%)	2,602 (4.4%)	113 (0.2%)
福岡県	254,728	687 (0.3%)	10,824 (4.2%)	8,654 (3.4%)	75,536 (29.7%)	159,027 (62.4%)	235,856 (92.6%)	17,854 (7.0%)	1,018 (0.4%)

	初診医診断						軽傷に占める
	死亡(人、割合)	重篤(人、割合)	重症(人、割合)	中等症(人、割合)	軽症(人、割合)	その他(人、割合)	高齢者数(人、割合)
北九州市消防局	359 (0.7%)	0 (0.0%)	1,465 (2.8%)	34,238 (66.2%)	15,677 (30.3%)	4 (0.0%)	8,390 (53.5%)
中間市消防本部	24 (1.0%)	0 (0.0%)	66 (2.7%)	1,801 (72.5%)	593 (23.9%)	0 (0.0%)	342 (57.7%)
遠賀郡消防本部	63 (1.2%)	0 (0.0%)	202 (3.7%)	3,733 (68.9%)	1,260 (23.2%)	163 (3.0%)	687 (54.5%)
北九州区域計	446 (0.7%)	0 (0.0%)	1,733 (2.9%)	39,772 (66.7%)	17,530 (29.4%)	167 (0.3%)	9,419 (53.7%)
福岡県	1,573 (0.6%)	8 (0.0%)	13,146 (5.2%)	138,915 (54.5%)	100,911 (39.6%)	175 (0.1%)	48,147 (47.7%)

- ・搬送人員を年齢区分別に見ると、北九州区域、県ともに高齢者の割合が高い
→ 北九州68.6%、県62.4%
- ・症状別では、北九州区域は、県に比べて軽症より中等症の割合が高い
→「中等症」北九州66.7%、県54.5%
- ・「軽傷に占める高齢者の割合」は、県に比べて高くなっている
→北九州53.7%、県47.7%

19. 救急搬送の状況② (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	うち 高齢者 (人)	高齢者の発生場所							
			住宅 (人、割合)	公衆出入の場所(人、割合)			仕事場 (人、割合)	道路 (人、割合)	その他 (人、割合)	
				うち病院・病床数 20以上の医療機関 (人、割合)	うち病床数19以下 の診療所、医院 (人、割合)	うち老人ホーム、老 人保健施設等の老 人の収容施設 (人、割合)				
北九州市消防局	51,743	35,314	21,988 (62.3%)	10,571 (29.9%)	2,138 (6.1%)	815 (2.3%)	6,208 (17.6%)	245 (0.7%)	2,304 (6.5%)	206 (0.6%)
中間市消防本部	2,484	1,799	1,224 (68.0%)	478 (26.6%)	35 (1.9%)	84 (4.7%)	296 (16.5%)	2 (0.1%)	88 (4.9%)	7 (0.4%)
遠賀郡消防本部	5,421	3,807	2,344 (61.6%)	1,273 (33.4%)	266 (7.0%)	107 (2.8%)	768 (20.2%)	15 (0.4%)	160 (4.2%)	15 (0.4%)
北九州区域計	59,648	40,920	25,556 (62.5%)	12,322 (30.1%)	2,439 (6.0%)	1,006 (2.5%)	7,272 (17.8%)	262 (0.6%)	2,552 (6.2%)	228 (0.6%)
福岡県	254,728	159,027	98,559 (62.0%)	48,121 (30.3%)	11,316 (7.1%)	4,613 (2.9%)	25,245 (15.9%)	1,237 (0.8%)	10,086 (6.3%)	1,024 (0.6%)

- ・高齢者の救急搬送件数を救急要請の発生場所別に見ると、県全体、北九州区域ともに、「住宅」が最も割合が高い
→北九州62.5%、県62.0%
- ・次が「老人ホーム、老人保健施設等の老人の収容施設」である

19. 救急搬送の状況③ (令和5年「福岡県消防年報」)

	搬送人員 (人)	収容平均所要時間 (分)	搬送決定までの連絡回数					搬送先	
			1回(人、割合)	2回(人、割合)	3回(人、割合)	4回以上(人、割合)	うち高齢者(人、割合)	管内(人、割合)	管外(人、割合)
北九州市消防局	51,743	37.75	40,767 (78.8%)	6,231 (12.0%)	2,386 (4.6%)	2,359 (4.6%)	1,714 (72.7%)	48,128 (93.0%)	3,615 (7.0%)
中間市消防本部	2,484	41.56	1,732 (69.7%)	377 (15.2%)	147 (5.9%)	228 (9.2%)	155 (68.0%)	165 (6.6%)	2,319 (93.4%)
遠賀郡消防本部	5,421	36.88	3,874 (71.5%)	716 (13.2%)	339 (6.3%)	492 (9.1%)	339 (68.9%)	3,393 (62.6%)	2,028 (37.4%)
北九州区域計	59,648	37.83	46,373 (77.7%)	7,324 (12.3%)	2,872 (4.8%)	3,079 (5.2%)	2,208 (71.7%)	51,686 (86.7%)	7,962 (13.3%)
福岡県	246,430	37.91	196,547 (79.8%)	31,515 (12.8%)	12,679 (5.1%)	13,987 (5.7%)	9,051 (64.7%)	201,365 (81.7%)	53,363 (21.7%)

【北九州区域各消防本部の主な搬送先】

(北九州市消防局)

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占める割合	うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 健和会大手町病院	北九州市	6,809	13.2%	26.4%	69.7%	3.1%
2位 北九州総合病院	北九州市	5,378	10.4%	35.3%	59.8%	3.7%
3位 小倉記念病院	北九州市	4,256	8.2%	20.3%	75.8%	3.5%
4位 新小文字病院	北九州市	4,119	8.0%	34.9%	61.3%	2.6%
5位 JCHO九州病院	北九州市	3,881	7.5%	31.1%	64.2%	3.9%
1位～5位の合計		24,443	47.2%	29.5%	66.3%	3.4%
総計		51,743	100.0%	30.3%	66.2%	2.8%

(中間市消防本部)

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占める割合	うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 福岡新水巻病院	水巻町	990	39.9%	20.0%	75.7%	3.2%
2位 JCHO九州病院	北九州市	395	15.9%	27.1%	68.4%	3.0%
3位 新中間病院	中間市	152	6.1%	28.3%	71.1%	0.0%
4位 北九州市立八幡病院	北九州市	138	5.6%	52.2%	42.0%	2.9%
5位 済生会八幡病院	北九州市	108	4.3%	17.6%	77.8%	3.7%
1位～5位の合計		1,783	71.8%	24.6%	71.2%	2.9%
総計		2,484	100.0%	23.9%	72.5%	2.7%

(遠賀郡消防本部)

搬送先機関名	所在市町村	搬送人員 (人)	総計に占める割合	うち重症(%)		
				うち軽症(%)	うち中等症(%)	うち重症(%)
1位 福岡新水巻病院	水巻町	2,014	37.2%	19.5%	74.4%	3.2%
2位 遠賀中間医師会おんが病院	遠賀町	929	17.1%	27.3%	67.7%	3.1%
3位 JCHO九州病院	北九州市	493	9.1%	22.7%	65.5%	3.2%
4位 産業医科大学病院	北九州市	359	6.6%	22.8%	64.6%	8.1%
5位 市立八幡病院	北九州市	287	5.3%	42.9%	47.4%	1.7%
1位～5位の合計		4,082	75.3%	23.6%	69.0%	3.5%
総計		5,421	100.0%	23.2%	68.9%	3.7%

・収容平均所要時間は、県全体が37.9分で、北九州市消防局37.8分、中間市消防本部が41.6分、遠賀郡消防本部が36.9分である

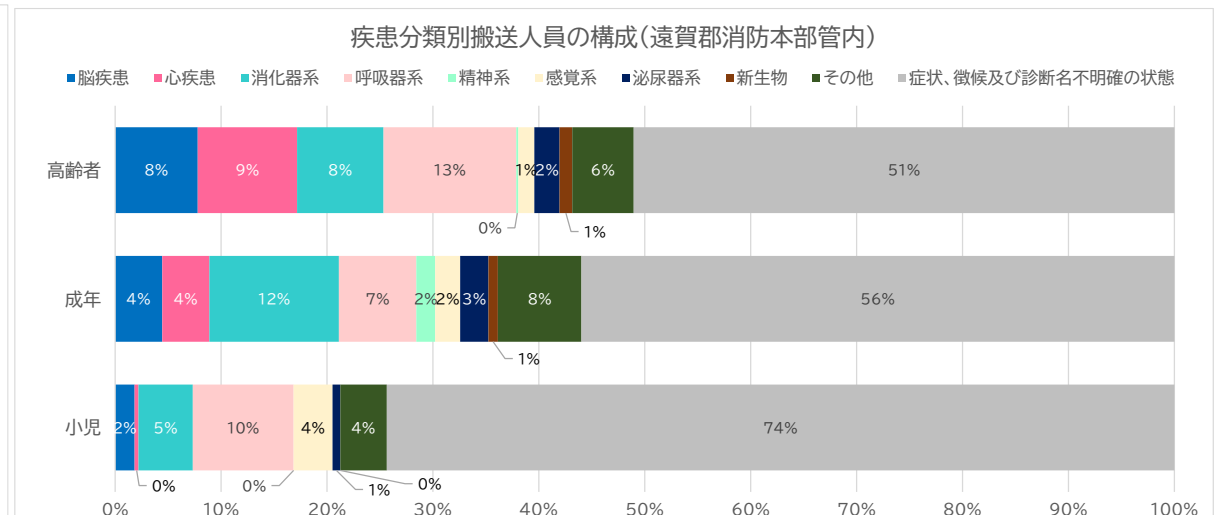
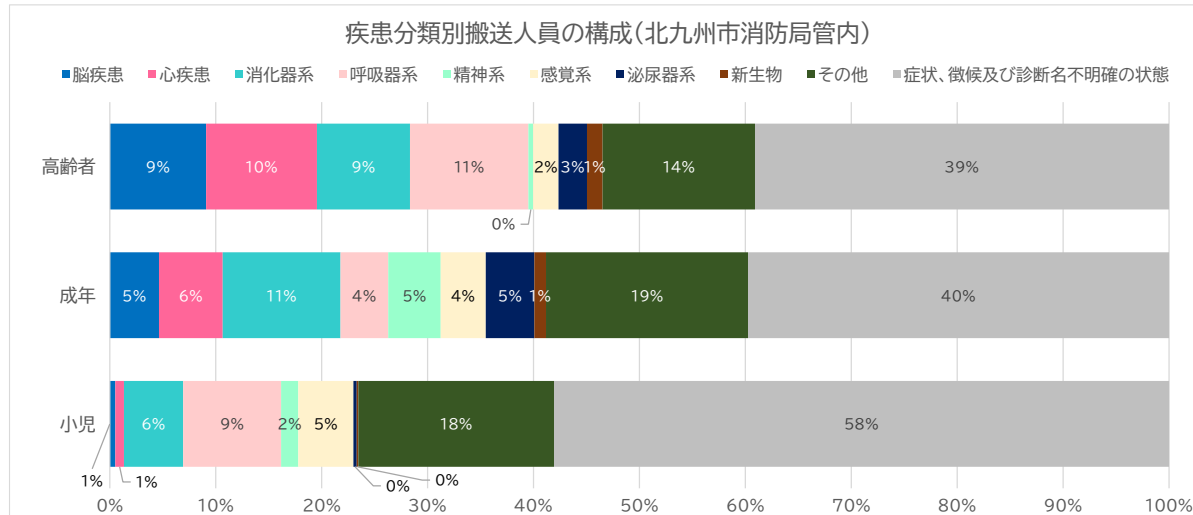
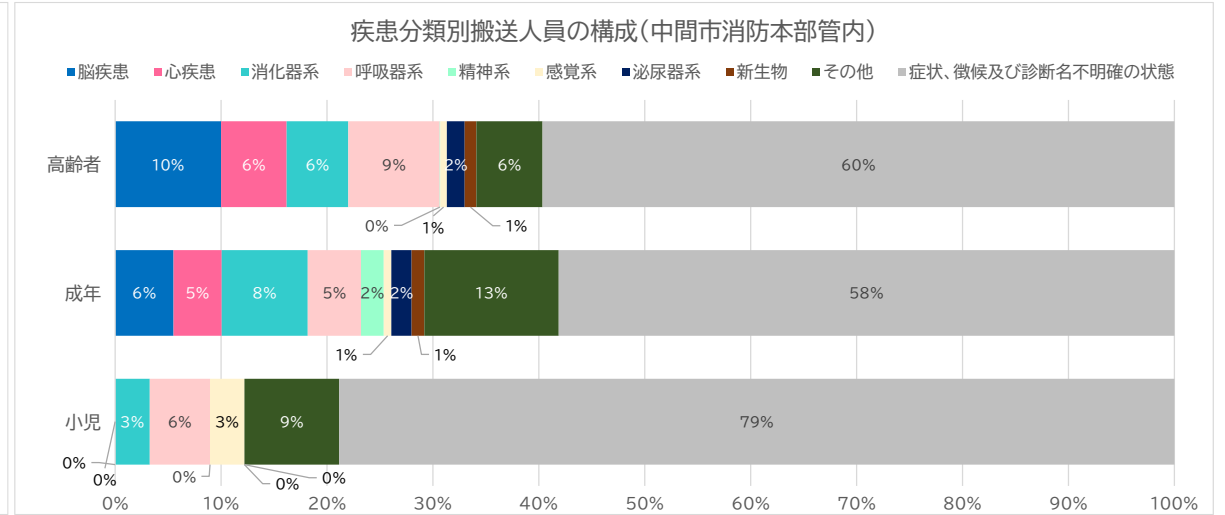
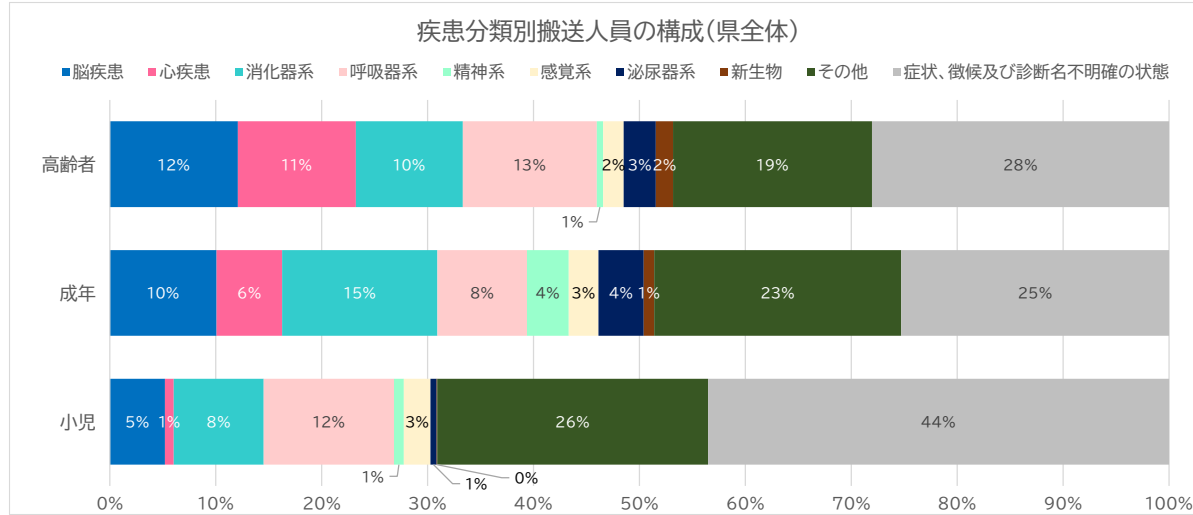
※収容平均所要時間とは、救急事故の覚知から医療機関に収容するまでに要した時間

・搬送決定までの連絡回数は、1回が県79.8%、北九州区域が77.7%で、1回までに決まる割合は、中間市消防本部で69.7%と低くなっている
ただし、4回以上かかる人数のうち高齢者の割合は、県よりも北九州区域が高い

・北九州区域各消防本部の主な搬送先を見ると、北九州市消防局は搬送先が分散しているが、上位5位までは全て域内の搬送先となっている
中間市消防本部、遠賀郡消防本部は、域内の「福岡新水巻病院(水巻町)」に概ね4割が搬送されている

19. 救急搬送の状況④ (令和5年「福岡県消防年報」)

● 疾患分類別搬送人員の構成



19. 救急搬送の状況⑤ (令和5年「福岡県消防年報」)

● 小児(新生児、乳幼児、少年の計)に係る北九州区域内の各消防本部の搬送状況 *搬送人員が10人以上の医療機関のうち、上位3位を集計

北九州市消防局

救急患者:3,223人(うち 搬送先 管内3,187人(98.9%)、管外36人(1.1%))

【管内】

病院名	搬送人員	総計に占める割合
1位 市立救命センター	951人	29.8%
2位 北九州総合病院	620人	19.5%
3位 国立病院機構小倉医療センター	556人	17.4%
管内総計	3,187人	100.0%

【管外】

病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位 福岡新水巻病院	水巻市	25人	69.4%
-	-	-	-
-	-	-	-
管外総計		36人	100.0%

【参考】北九州市消防局

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	2,829人 (87.8%)
2回	275人 (8.5%)
3回	72人 (2.2%)
4回以上	47人 (1.5%)

収容平均所要時間 36.07分

中間市消防本部

救急患者:168人(うち 搬送先 管内2人(1.2%)、管外166人(98.8%))

【管内】

病院名	搬送人員	総計に占める割合
-	-	-
-	-	-
-	-	-
管内総計	2人	100.0%

【管外】

病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位 北九州市立八幡病院	北九州市	73人	44.0%
2位 JCHO九州病院	北九州市	67人	40.4%
3位 福岡新水巻病院	水巻市	10人	6.0%
管外総計		166人	100.0%

【参考】中間市消防本部

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	143人 (85.1%)
2回	12人 (7.1%)
3回	5人 (3.0%)
4回以上	8人 (4.8%)

収容平均所要時間 40.32分

遠賀郡消防本部

救急患者:373人(うち 搬送先 管内37人(9.9%)、管外336人(90.1%))

【管内】

病院名	搬送人員	総計に占める割合
1位 遠賀中間医師会おんが病院	18人	48.6%
2位 福岡新水巻病院	16人	43.2%
-	-	-
管内総計	37人	100.0%

【管外】

病院名	所在市町村	搬送人員	総計に占める割合
1位 北九州市立八幡病院	北九州市	163人	48.5%
2位 JCHO九州病院	北九州市	117人	34.8%
3位 産業医科大学病院	北九州市	33人	9.8%
管外総計		336人	100.0%

【参考】遠賀郡消防本部

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	297人 (79.6%)
2回	44人 (11.8%)
3回	16人 (4.3%)
4回以上	16人 (4.3%)

収容平均所要時間 39.10分

● 小児に係る北九州区域内の医療機関への搬送患者の状況

病院名	搬送患者数	1位					
		1位	2位	3位			
1位 市立救命センター	951人	北九州市消防局	100.0%	-	-	-	-
2位 JCHO九州病院	789人	北九州市消防局	62.6%	遠賀郡消防本部	14.8%	中間市消防本部	8.5%
3位 北九州総合病院	774人	北九州市消防局	80.1%	行橋市消防本部	8.9%	苅田町消防本部	6.3%

【参考】福岡県平均

搬送決定までの連絡回数	搬送人員 (割合)
1回	16,559人 (82.1%)
2回	2,254人 (11.2%)
3回	765人 (3.8%)
4回以上	587人 (2.9%)

収容平均所要時間 37.55分

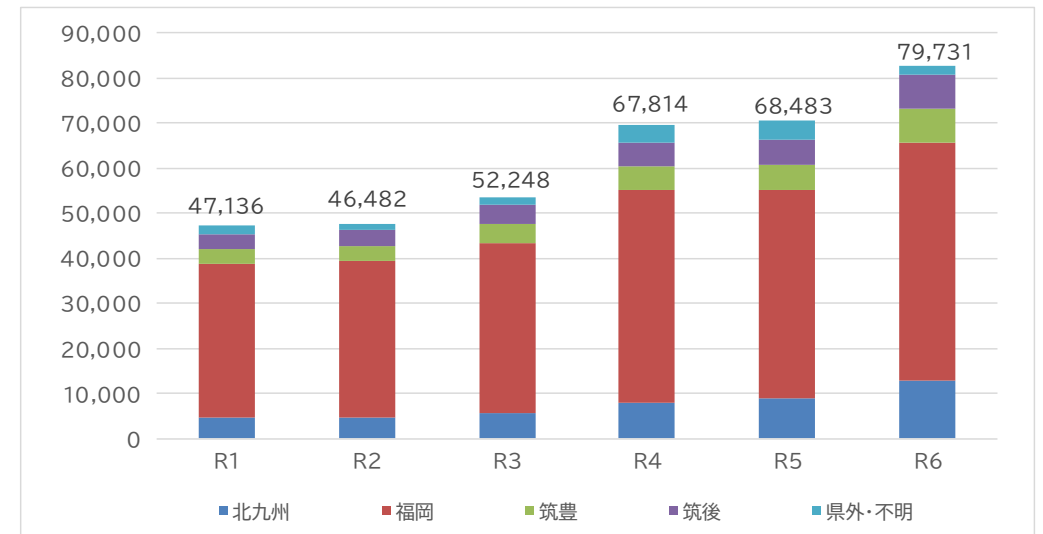
20. 福岡県救急電話相談事業（#7119）市町別利用件数

●福岡県救急電話相談事業（#7119）市別利用件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	4,716	4,473	5,728	7,984	8,731	12,650	168.2%
福岡	33,951	35,026	37,704	47,051	46,369	53,038	56.2%
筑豊	3,341	2,292	2,739	3,688	3,588	4,413	32.1%
筑後	3,354	3,315	4,134	5,334	5,670	7,526	124.4%
県外・不明	1,774	1,376	1,943	3,757	4,125	2,104	18.6%
福岡県計	47,136	46,482	52,248	67,814	68,483	79,731	69.2%

福岡県のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から1万1,248件増加し、過去最多の7万9,731件となった

北九州地域のR6年度の「#7119」の利用件数は、前年度(R5年度)から3,919件増加し、過去最多の1万2,650件となった

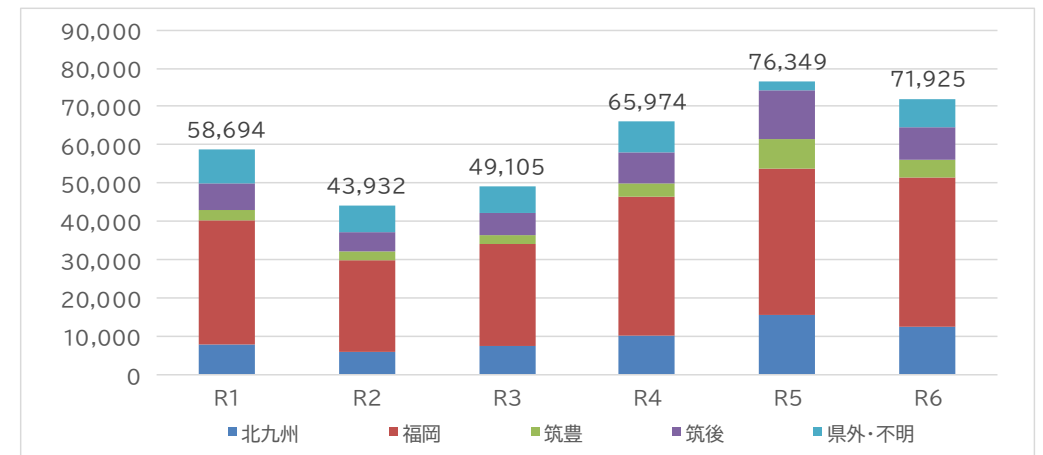


●福岡県小児救急医療電話相談（#8000）件数

地域別	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増加率 (R1→R6)
北九州	7,615	5,869	7,334	10,265	15,449	12,596	65.4%
福岡	32,539	24,063	26,695	36,142	38,283	38,759	19.1%
筑豊	2,843	2,230	2,472	3,546	7,872	4,544	59.8%
筑後	6,919	4,795	5,651	8,177	12,649	8,656	25.1%
県外・不明	8,778	6,975	6,953	7,844	2,096	7,370	-16.0%
福岡県計	58,694	43,932	49,105	65,974	76,349	71,925	22.5%

福岡県の「#8000」の相談件数はR2年度から増加傾向にあり、過去最多は前年度(R5年度)の7万6,349件である

北九州地域の「#8000」の相談件数はR2年度から増加傾向にあり、過去最多は前年度(R5年度)の1万5,449件で、R6年度は1万2,596件となった



* 地域別の件数は相談者居住地による相談件数

21. MDC(主要診断群分類)別割合(手術あり) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」(R5.4月～R6.3月))

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: 小倉記念病院 (26.3%)、産業医科大学病院 (11.9%)、福岡新水巻病院 (8.9%)
眼科系 (02)	: 産業医科大学病院 (30.3%)、小倉記念病院 (21.8%)、(独)労働者健康安全機構 九州労災病院 (13.4%)
耳鼻科系 (03)	: 北九州総合病院 (27.5%)、産業医科大学病院 (22.8%)、小倉記念病院 (11.8%)
呼吸器系 (04)	: 産業医科大学病院 (21.9%)、小倉記念病院 (12.6%)、(独)地域医療機能推進機構 九州病院 (12.1%)、北九州市立医療センター (12.1%)
循環器系 (05)	: 小倉記念病院 (57.4%)、(独)地域医療機能推進機構 九州病院 (10.1%)、製鉄記念八幡病院 (6.9%)
消化器系 (06)	: 北九州市立医療センター (10.5%)、産業医科大学病院 (10.4%)、(独)地域医療機能推進機構 九州病院 (9.7%)
筋骨格系 (07)	: (独)労働者健康安全機構 九州労災病院 (26.1%)、産業医科大学病院 (13.3%)、新小文字病院 (10.8%)
皮膚系 (08)	: 産業医科大学病院 (31.8%)、北九州市立八幡病院 (15.2%)、(独)労働者健康安全機構 九州労災病院 (14.9%)
乳房系 (09)	: 北九州市立医療センター (26.8%)、(独)地域医療機能推進機構 九州病院 (16.7%)、産業医科大学病院 (14.4%)
内分泌系 (10)	: 産業医科大学病院 (25.3%)、北九州市立医療センター (16.7%)、小倉記念病院 (10.3%)、北九州総合病院 (10.3%)
腎尿路系 (11)	: 小倉記念病院 (15.1%)、(独)地域医療機能推進機構 九州病院 (14.6%)、産業医科大学病院 (13.5%)
女性系 (12)	: 北九州市立医療センター (19.7%)、産業医科大学病院 (18.2%)、(独)国立病院機構小倉医療センター (15.0%)
血液系 (13)	: 産業医科大学病院 (23.8%)、(独)地域医療機能推進機構 九州病院 (16.1%)、北九州市立医療センター (10.9%)
新生児系 (14)	: (独)地域医療機能推進機構 九州病院 (38.6%)、北九州市立医八幡病院 (17.7%)、(独)国立病院機構小倉医療センター (13.6%)
小児系 (15)	: ー
外傷系 (16)	: (独)労働者健康安全機構 九州労災病院 (12.9%)、北九州総合病院 (11.8%)、健和会 大手町病院 (9.4%)
精神系 (17)	: ー
その他 (18)	: 産業医科大学病院 (13.6%)、(独)地域医療機能推進機構 九州病院 (13.2%)、小倉記念病院 (11.5%)

21. MDC(主要診断群分類)別割合(手術なし) (令和5年度DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」(R5.4月～R6.3月))

Major Diagnostic Category : WHOが制定しているICD-10分類「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」に基づく18の主要診断群のこと

神経系 (01)	: 小倉記念病院 (16.0%)、産業医科大学病院 (9.7%)、福岡新水巻病院 (8.7%)
眼科系 (02)	: 産業医科大学病院 (64.2%)、(医)共愛会 戸畑共立病院 (21.7%)、(独)労働者健康安全機構 九州労災病院 (14.2%)
耳鼻科系 (03)	: 産業医科大学病院 (13.1%)、北九州総合病院 (12.2%)、(医)恵友会霧ヶ丘つだ病院 (9.5%)
呼吸器系 (04)	: 北九州総合病院 (10.9%)、産業医科大学病院 (10.7%)、北九州市立八幡病院 (9.8%)
循環器系 (05)	: 小倉記念病院 (37.0%)、(独)地域医療機能推進機構 九州病院 (7.9%)、製鉄記念八幡病院 (7.2%)
消化器系 (06)	: 産業医科大学病院 (8.4%)、北九州総合病院 (7.6%)、(独)労働者健康安全機構 九州労災病院 (7.5%)
筋骨格系 (07)	: 産業医科大学病院 (32.9%)、北九州総合病院 (8.3%)、(独)労働者健康安全機構 九州労災病院 (8.0%)
皮膚系 (08)	: 北九州市立八幡病院 (20.7%)、(独)国立病院機構小倉医療センター (16.4%)、産業医科大学病院 (13.2%)
乳房系 (09)	: 産業医科大学病院 (22.9%)、北九州総合病院 (18.1%)、製鉄記念八幡病院 (12.5%)
内分泌系 (10)	: 産業医科大学病院 (12.2%)、北九州総合病院 (11.3%)、健和会大手町病院 (9.3%)
腎尿路系 (11)	: 産業医科大学病院 (12.0%)、小倉記念病院 (11.4%)、(独)地域医療機能推進機構 九州病院 (9.8%)
女性系 (12)	: 北九州市立医療センター (29.2%)、(独)地域医療機能推進機構 九州病院 (20.9%)、産業医科大学病院 (18.2%)
血液系 (13)	: (独)地域医療機能推進機構 九州病院 (17.8%)、北九州市立医療センター (14.6%)、小倉記念病院 (14.4%)
新生児系 (14)	: 産業医科大学病院 (27.9%)、(独)国立病院機構小倉医療センター (17.3%)、(独)地域医療機能推進機構 九州病院 (16.0%)
小児系 (15)	: (独)国立病院機構小倉医療センター (33.7%)、(独)地域医療機能推進機構 九州病院 (24.8%)、北九州市立八幡病院 (18.1%)
外傷系 (16)	: 健和会大手町病院 (13.6%)、北九州市立八幡病院 (12.3%)、北九州総合病院 (12.2%)
精神系 (17)	: 健和会大手町病院 (46.8%)、北九州市立医療センター (18.1%)、新小文字病院 (6.9%)、北九州総合病院 (6.9%)
その他 (18)	: 健和会大手町病院 (15.6%)、小倉記念病院 (12.1%)、(独)国立病院機構小倉医療センター (11.4%)